

もくじ

もくじ	1
はじめに	7

1章 トラブルを解消するまで 13

1 トラブルを解消するまでの流れ	14
① サイバーサポートで調べる	16
② dynabook.com で調べる	19
2 トラブル解消に役立つ操作	22
① コントロールパネルを開く	22
② パソコンを再起動する	25
3 トラブルが起こったときは	26
① パソコンの情報を見る／状態を診断する	26
② 正常な状態で起動しなおす	28

2章 トラブルを防ぐために 29

1 ウイルスチェックをする	30
① Norton Internet Security のインストール	30
② Norton AntiVirus でチェックする	31
③ Norton Internet Security の設定	33
2 バックアップをとる	34
① CD-RW、CD-R などにデータをバックアップする	34
② インターネットのバックアップをとる	39
③ メールバックアップをとる	40

3章 Q&A 集 45

電源を入れるとき／切るとき	46
Q 電源スイッチを押しても反応しない	46
Q 1度電源が入りかけるがすぐに切れる 電源が入らない (Battery LED がオレンジ色に点滅している場合)	46
Q 1度電源が入りかけるがすぐに切れる 電源が入らない (DC IN LED がオレンジ色に点滅している場合)	46

Q 電源を入れたが、システムが起動しない	47
Q 自動的に電源が入ってしまう	47
Q [終了オプション] から電源が切れない	48
Q 使用中に突然電源が切れてしまった	48
Q しばらく操作しないとき、電源が切れる	49
Q 間違って電源を切ってしまった	49
画面／表示	50
Q 画面に何も表示されない (Power LED が消灯、またはオレンジ色に点滅している場合)	50
Q 電源は入っているが、画面に何も表示されない (Power LED が緑色に点灯している場合)	50
Q 画面が見にくい	50
Q 画面が暗い	51
Q 画面の表示や色がはっきりしない	51
Q CRT ディスプレイで画面の色がにじんだように表示される	52
Q [画面のプロパティ] で [画面の解像度] や [画面の色] を変更できない	52
Q [スタート] ボタン／タスクバーを表示したい	52
バッテリー駆動で使用するとき	53
Q Battery LED が点滅した	53
Q 充電したはずのバッテリーパックを使用しても Battery LED がオレンジ色に点滅する	54
Q バッテリー駆動でしばらく操作しないとき、電源が切れる	54
キーボード	55
Q キーを押しても文字が表示されない	55
Q キーボードから文字を入力しているときにカーソルがとんでしまう	55
Q 「\」(バックslash)が入力できない	55
Q キートップがはずれてしまった	55
Q ひらがなや漢字の入力ができない	56
Q キーボードで入力モードを切り替えたい	56
Q キーに印刷された文字と違う文字が入力されてしまう	56

Q どのキーを押しても反応しない 設定はあっているが、希望の文字が入力できない	57
Q キーボードに飲み物をこぼしてしまった	58
タッチ패드/マウス	58
Q タッチ패드やマウスを動かしても画面のポインタが動かない (反応しない)	58
Q ダブルクリックがうまくできない	58
Q ポインタの動きが遅い/速い	59
Q USB マウスが使えない	59
CD / DVD	60
Q CD / DVD にアクセスできない	60
Q CD-ROM LED が消えない	60
Q CD / DVD が取り出せない	61
Q パソコン本体またはドライブの電源が入らないため、 CD / DVD が取り出せない	61
Q DVD-Video をドライブにセットすると、 Windows Media Player が起動してしまう	61
サウンド機能	61
Q サウンド再生時に音飛びが発生する	61
周辺機器	62
Q 周辺機器を取り付けているときの電源を入れる順番は？	62
Q 周辺機器を取り付けたが正しく動かない	62
フロッピーディスク	62
Q フロッピーディスクに書き込み（データの保存）ができない	62
Q ファイルを開こうとすると「読み込みエラー」や 「ディスクエラー」が表示された	63
Q フロッピーディスクのフォーマットができない	64
Q フロッピーディスクのフォーマットに時間がかかる	64
Q 起動用フロッピーディスクからシステムが起動しない	64

プリンタ	65
Q 印刷ができない	65
Q 印刷を実行すると [ファイルへ出力] 画面が表示される	66
Q スタンバイ状態、休止状態から復帰後、正常に印刷できない	66
Q 最後まで正しく印刷できない	66
Q 上記のすべてを行っても印刷できない	67
PC カード	67
Q PC カードが認識されない	67
Q PC カードの挿入は認識されるがデバイスとして認識されない	67
Q PC カードは認識されるが使用できない	67
USB 対応機器	68
Q USB 対応機器が使えない	68
Q 休止状態から復帰後、USB 対応機器が正常に動作しない	69
アプリケーション	69
Q アプリケーションが使えない	69
Q アプリケーションが操作できなくなった	70
Q アプリケーションがインストールできない	70
Q 購入時に入っていたアプリケーションを誤って削除してしまった ...	70
Q BeatJam が起動できない	71
メッセージ	71
Q 「Password=」 と表示された	71
Q 「パスワードを忘れてしまいましたか？」 「パスワードが誤っています。」 と表示された	72
Q 画面が青くなり、次のようなメッセージが画面一面に表示された ..	72
Q 「RTC battery is low or CMOS checksum is inconsistent」 「Press[F1]Key to set Date/Time.」 と表示された	72
Q 次のようなメッセージが表示された	73
Q C:¥ >_ のように表示された	73
Q その他のメッセージが表示された	73

その他.....	74
Q セーフモードで起動した	74
Q 引っ越したときの手続きは？	74
Q パソコン本体からカリカリと変な音ができる	75
Q 甲高い音ができる	76
Q テレビやラジオの音が聞こえてくる	76
Q パソコンの近くにあるテレビやラジオの調子がおかしい	76
Q パソコンが応答しない	77
Q コンピュータウイルスに感染した可能性がある	77
Q インターネットに接続できない	77
Q 異常な臭いや過熱に気づいた！	78
Q 操作できない原因がどうしてもわからない	78
Q パソコンを廃棄したい	78

4章 再セットアップ

79

1 再セットアップとは	80
① 再セットアップが必要なとき	80
② 再セットアップ方法	80
③ 再セットアップする前に	81
④ リカバリ DVD について	81
2 システムの復元	82
① はじめる前に	82
② システムを復元する	83
3 アプリケーションを再インストールする	87
① アプリケーションを再インストールする	87

5章 アフターケア

89

1 アフターケアについて	90
2 廃棄・譲渡について	91
① バッテリーパックについて	91
② パソコン本体について	91

1 アプリケーションの問い合わせ先	96
2 プロバイダの問い合わせ先	101
3 トラブルチェックシート	104
① 東芝PCダイヤル	104
② トラブルチェックシート	105
総合さくいん	106

はじめに

本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、同梱の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。必ずお読みになり、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

本書は、次の決まりに従って書かれています。

記号の意味

 警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。
 お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
 メモ	知っていると便利な内容を示します。
 役立つ 操作集	知っていると役に立つ操作を示します。
 参照	このマニュアルや他のマニュアルへの参照先を示します。 このマニュアルへの参照の場合 … 「 」 他のマニュアルへの参照の場合 … 『 』 サイバーサポートへの参照の場合 … 〈 〉 サイバーサポートにはさまざまな情報が搭載されており、自然語で検索できます。

- *1 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
- *2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
- *3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

用語について

本書では、次のように定義します。

システム 特に説明がない場合は、ご使用になるオペレーティングシステム（OS）を示します。本製品のシステムは Windows XP です。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト
アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows XP

Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版を示します。

MS-IME Microsoft® IME スタンダード 2002 を示します。

サイバーサポート

CyberSupport for TOSHIBA を示します。

記載について

- ・ インターネット接続については、内蔵モデムを使用した接続を前提に説明しています。
- ・ アプリケーションについては、本製品にプレインストールまたは同梱の CD / DVD からインストールしたバージョンを使用することを前提に説明しています。
- ・ 本書に記載している画面やイラストは一部省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。

Trademarks

- ・ Microsoft、Windows、Windows Media、Office ロゴ、Outlook、Bookshelf は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Bookshelf Basic は、次の書籍を基に制作されました。『新英和中辞典』第6版 © 研究社 1967,1994,1998、『新和英中辞典』第4版 © 研究社 1933, 1995,1998、『新明解国語辞典』第5版 © 三省堂 1972,1974,1981,1989,1997
- ・ CyberSupport、BeatJam は、株式会社ジャストシステムの商標または登録商標です。
- ・ CyberSupport、BeatJam は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、CyberSupport、BeatJam にかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- ・ LaLaVoice、The 翻訳、The 翻訳インターネット、ConfigFree は (株) 東芝の商標または登録商標です。
- ・ 駅前探検倶楽部は株式会社駅前探検倶楽部の登録商標です。
- ・ ekitanExpress Online の商標は出願中です。
- ・ Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Acrobat は Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の商標です。
- ・ Drag'n Drop はイージーシステムズジャパン株式会社と株式会社デジオンの登録商標です。
- ・ Symantec、Symantec ロゴ、Norton AntiVirus、LiveUpdate は Symantec Corporation の登録商標です。
Norton Internet Security は Symantec Corporation の商標です。
©2003 Symantec Corporation, All Rights Reserved.
- ・ infoPepper は東芝情報システム株式会社の登録商標です。
- ・ アメリカ・オンラインおよび AOL は AOL の登録商標です。
- ・ BIGLOBE は日本電気株式会社の商標です。
- ・ DION は KDDI 株式会社の登録商標です。
- ・ OCN は NTT コミュニケーションズ株式会社の商標です。
- ・ @nifty は、ニフティ株式会社の商標です。
- ・ ODN は日本テレコム株式会社の商標です。
- ・ かるがるネット、かるがるネットのロゴは株式会社アイコムジャパンの商標または登録商標です。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

プロセッサ (CPU) に関するご注意

本製品に使われているプロセッサ (CPU) の処理能力は次のような条件によって違いが現れます。

- ・ 周辺機器を接続して本製品を使用している場合
- ・ ACアダプタを接続せずバッテリー駆動にて本製品を使用する場合
- ・ マルチメディアゲームや特殊効果を含む映像を本製品にてお楽しみの場合
- ・ 本製品を通常の電話回線、もしくは低速度のネットワークに接続して使用する場合
- ・ 複雑な造形に使用するソフト (例えば、運用に高性能コンピュータが必要に設計されているデザイン用アプリケーションソフト) を本製品上で使用する場合
- ・ 気圧が低い高所にて本製品を使用する場合
目安として、標高 1,000メートル (3,280 フィート) 以上をお考えください。
- ・ 目安として、気温 5 ~ 35℃ (高所の場合 25℃) の範囲を超えるような外気温の状態では本製品を使用する場合

本製品のハードウェア構成に変更が生じる場合、CPU の処理能力が実際には仕様と異なる場合があります。

また、ある状況下においては、本製品は自動的にシャットダウンする場合があります。これは、当社が推奨する設定、使用環境の範囲を超えた状態で本製品が使用された場合、お客様のデータの喪失、破損、本製品自体に対する損害の危険を減らすための通常の保護機能です。なお、このようにデータの喪失、破損の危険がありますので、必ず定期的にデータを外部記録機器にて保存してください。また、プロセッサが最適の処理能力を発揮するよう、当社が推奨する状態にて本製品をご使用ください。

この他の使用制限事項につきましては取扱説明書をお読みください。また、詳細な情報については東芝 PC ダイヤル 0570-00-3100 にお問い合わせください。

著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作権者及び著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的に又は家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製 (データ形式の変換を含む)、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守の上、適切な使用を心がけてください。

リリース情報について

「リリース情報」には、本製品を使用するうえでの注意事項などが記述されています。必ず読んでください。

本製品の電源を入れた状態で、次の操作を行うと表示されます。

- ① [スタート] → [すべてのプログラム] → [はじめに] → [リリース情報] をクリックする

お願い

- ・ 本製品の内蔵ハードディスクにインストールされているシステム（OS）、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。
- ・ 内蔵ハードディスクにインストールされているシステム（OS）は、本製品でのみ利用できます。
- ・ 購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
- ・ パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。パスワードを忘れてしまって、パスワードを削除できなくなった場合は、使用している機種を確認後、近くの保守サービスに依頼してください。パスワードの解除を保守サービスに依頼する場合は、有償です。またそのとき、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。
- ・ ご使用の際は必ず付属の『エンドユーザ使用許諾契約書』および『CD-ROM/DVD-ROMに関する注意事項』をお読みください。

本製品のお客様登録（ユーザ登録）をあらかじめ行っていただくようお願いしております。本体同梱の「お客様カード」またはインターネット経由で登録できます。

 参照 詳細について『まずはこれから ユーザ登録をする』

「保証書」は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

1 章

トラブルを解消するまで

パソコンの操作をしていて困ったときに、どうしたら良いかを説明しています。

サイバーサポートで情報を調べる方法や、「dynabook.com」の紹介もしています。

トラブルが起こったときは、あわてずに、この章を読んで、解消方法を探してみてください。

1	トラブルを解消するまでの流れ	14
2	トラブル解消に役立つ操作	22
3	トラブルが起こったときは	26

1 トラブルを解消するまでの流れ

パソコンが動かなくなった！今までとは違う動きをする！なんだか変！不安だ！
そんなときには次の順番で解消へのアプローチをたどってください。

パソコンの状態を確認してください。

- 電源は入りますか？
- 画面は表示されますか？
- タッチパッド／マウス、キーボードは操作できますか？

はい

サイバーサポートで調べてください。

サイバーサポートは、パソコンの画面上でdynabookの使いかたやトラブルの解消方法を見ることができます。

また、知りたいことを入力すると、Windowsやアプリケーションなどのヘルプをまとめて検索できます。

参照▶ 詳細について「本節 ①
サイバーサポートで調べる」

いいえ

本書の「3章 Q&A集」で調べてください。

パソコンについてよく問い合わせのあるトラブルの解消方法を、「電源を入れるとき／切るとき」などの操作場面ごとにQ&A形式で説明しています。

「dynabook.com」
で調べてください。
インターネットに接続
してホームページ
「dynabook.com」で
調べてください。
dynabookの最新情報
や、「よくあるご質問
(FAQ)」、技術情報など
が掲載されています。

参照 → 詳細について
「本節 ② dynabook.
comで調べる」

アプリケーションの
トラブル

各アプリケーション
のサポート窓口に関
い合わせてください。
「付録 1 アプリケーシ
ョンの問い合わせ先」
を確認してください。

周辺機器の
トラブル

各周辺機器のサポー
ト窓口に関い合わせ
てください。
『周辺機器に付属の説
明書』を確認してくだ
さい。

パソコン本体のトラブル

「東芝PCダイヤル」
に関い合わせてくだ
さい。
「付録 3 トラブルチェ
ックシート」で必要事
項を確認してから、電
話で関い合わせてくだ
さい。

dynabook の故障や修理など、サポート情報については、同梱の『東芝 PC サポートのご案内』を確認してください。

1 サイバーサポートで調べる

わからないことや知りたいことがあるとき、^{サイバーサポート}「CyberSupport for TOSHIBA」を起動してパソコン画面上で調べることができます。

サイバーサポートには、パソコンの使いかたや知っておくと便利なこと、困ったときのトラブル解消方法、用語集などが掲載されています。

また、知りたい内容を文章（自然語）や単語で入力すると、Windows のヘルプ、アプリケーションのヘルプなどを自動的に検索して解決方法を探します。

質問を手がかりにして、各ヘルプの情報を総合的にまとめて調べることができ、便利です。

1 起動方法

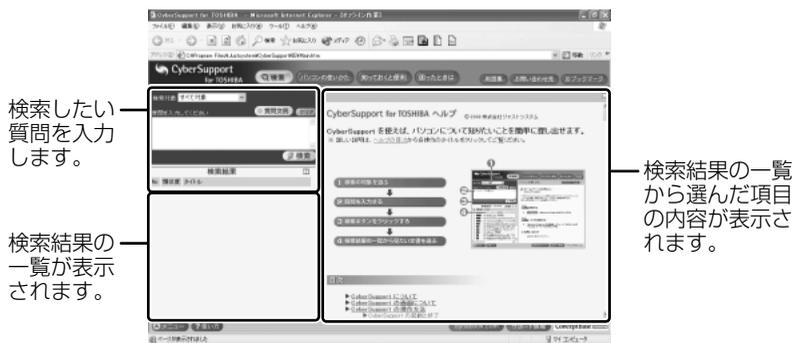
1 デスクトップの [CyberSupport for TOSHIBA] アイコン () をダブルクリックする

サイバーサポートが起動します。

初めて起動したときは、[使用許諾の確認] 画面が表示されます。使用許諾契約書に同意して使用してください。

2 検索画面が表示されていない場合は、[検索] ボタン () をクリックする

検索画面が表示されます。



2 活用情報を見る

サイバーサポートには、次のような情報が項目ごとに掲載されています。

パソコンの使いかた	本製品にインストールされているアプリケーションの概要や、起動方法について説明しています。
知っておくと便利	本製品のできる機能について説明しています。
困ったときは	トラブルの解消方法を、操作場面ごとに Q & A 形式で説明しています。
用語集	パソコンを使うときに利用する用語の意味について説明しています。
お問い合わせ先	本製品にインストールされているアプリケーションやプロバイダの問い合わせ先を掲載しています。
ブックマーク	本製品に添付されているマニュアルなどの、目的の説明を登録し、あとから簡単に表示させることができます。

次の手順で情報を表示できます。

1 見たい項目のボタンをクリックする



左画面にもくじが表示されます

2 もくじから、見たい項目をクリックする

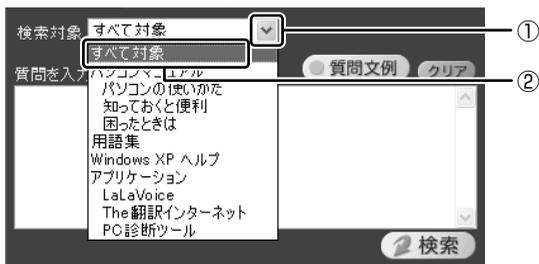
項目によっては、さらに細かく分類されたもくじが表示されます。見たい項目を選んでクリックしてください。

右画面に情報ページが表示されます。

3 解決方法を検索する

- 1 検索画面が表示されていない場合は、[検索] ボタン ( 検索) をクリックする

2 [検索] タブの [検索対象] の ▾ をクリックして①、表示される一覧から調べたい項目の分類をクリックする②

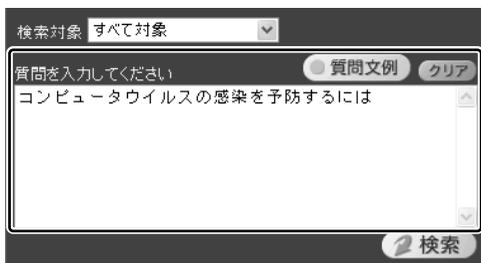


あらかじめパソコンにインストールされていたもの以外は、この [検索対象] 一覧にありません。後からインストールしたアプリケーションなどは、[検索対象] に追加してください。

▶ 参照 ▶ 検索対象追加について「本項 4 検索対象を追加する」

3 [質問を入力してください] に質問を入力する

質問は、わかりやすい表現で、できるだけ具体的に入力してください。単語だけでも検索できますが、結果を絞り込むためにはできるだけ詳しく入力してください。



[質問文例] ボタン () をクリックすると、文例リストが表示されますので、そこから選択することもできます。

4 [検索] ボタン () をクリックする

検索対象に設定されているすべてのヘルプが検索され、[検索結果] 欄に該当する項目のリストが表示されます。

5 見たい項目をクリックする

右側の画面に、項目の内容が表示されます。

[トピックの検索] 画面が表示された場合は、[表示] ボタンをクリックしてください。

4 検索対象を追加する

サイバーサポートが検索する情報には、dynabookの情報、Windowsのヘルプやプレインストールされている一部のアプリケーションのヘルプが、あらかじめ登録されています。

検索対象を追加すると、サイバーサポートで検索できる内容が広がります。

- 1 **【メニュー】ボタン** () をクリックして、表示されたメニューから **【検索対象の追加】** をクリックする
[検索対象の追加] 画面が表示されます。
- 2 **【アプリケーション一覧】** でヘルプを登録したいアプリケーション名を **チェック** (), **【OK】ボタン** () をクリックする
検索情報の更新が開始され、終了すると自動的に検索の画面に戻ります。
[検索対象] にアプリケーションが追加され、ヘルプがサイバーサポートで検索できるようになります。**【アプリケーション一覧】** でグレー表示されているのは、まだインストールされていないアプリケーションです。

ヘルプの起動方法

サイバーサポートの詳しい使いかたについては、ヘルプを確認してください。

- 1 **【使い方】ボタン** () をクリックする

 **参照** サイバーサポートの問い合わせ先
[付録 1 アプリケーションの問い合わせ先]

2 dynabook.comで調べる

インターネットのホームページ「dynabook.com」では、dynabookの最新情報や技術情報、活用術などを提供しています。dynabookについて知りたいときは、このホームページで情報を探してください。

URL <http://dynabook.com/>

1 「dynabook.com」を見る

- 1 **【スタート】ボタン** をクリックし、**【インターネット】** をクリックする
Internet Explorerが起動します。
購入時の状態では、起動して最初に「dynabook.com」のトップページが表示されるように設定されています。

 **参照** インターネットの接続について
『基本をマスター 2章 1 インターネットに接続する』

【 dynabook のサポート情報について 】

URL http://dynabook.com/assistpc/index_j.htm

「dynabook.com」のトップページ (<http://dynabook.com/>) からは、[サポート情報] タブをクリックすると表示されます。



「よくあるご質問 (FAQ)」や、デバイスドライバや修正モジュールなどのダウンロード、Windows 関連情報を提供しています。

また、インターネットでのお客様登録を行うことができます。

サポート窓口や修理についても案内しています。

【 パソコンの操作に困ったら「よくあるご質問 (FAQ)」 】

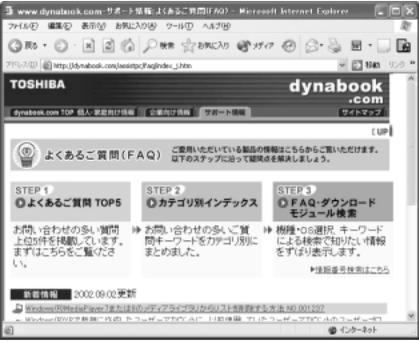
URL http://dynabook.com/assistpc/faq/index_j.htm

「dynabook.com」のトップページ (<http://dynabook.com/>) からは、[サポート情報] タブをクリックし①、[よくあるご質問] をクリックする②と表示されます。



日頃、よく寄せられる質問について、サポートスタッフが、図や解説をまじえて解決方法を掲載しています。

キーワードでも、普通の文章でも入力して、検索できます。



「dynabook.com」は、最新情報を掲載するため、内容を変更することがあります。

この他、アプリケーションの取り扱い元では、ホームページに情報を掲載している場合があります。アプリケーションについて知りたいことがあるときは、ホームページを確認するのも良いでしょう。

参照 → ホームページアドレスについて
「付録 1 アプリケーションの問い合わせ先」

2 トラブル解消に役立つ操作

トラブルを解消するために、パソコンの設定を変更する必要がある場合があります。ここでは、パソコンの設定を変更するときによく使う操作を説明します。

1) コントロールパネルを開く

コントロールパネルとは、パソコンのいろいろな設定をまとめたフォルダです。パソコンの設定を変更したいときには、まずコントロールパネルを開き、その中から目的の設定を行うオプション画面を選ぶことがよくあります。

コントロールパネルの開きかたを説明します。

1 開きかた

- 1 [スタート] ① → [コントロールパネル] をクリックする②



2 【コントロールパネル】画面

【コントロールパネル】には、カテゴリとオプションがあります。

カテゴリとは、コントロールパネルから行うことができるいろいろな設定を、[デスクトップの表示とテーマ] や [ネットワークとインターネット接続] など、内容別に大きく9つに分類したものです。

オプションとは、[画面] や [サウンドとオーディオデバイス] など、具体的な設定画面のことです。設定内容を絵で表したアイコンで表示されます。

カテゴリはオプションを探しやすいように分けているもので、実際の設定変更はオプションで行います。

【コントロールパネル】画面には、カテゴリだけを表示している画面と、すべてのオプションを表示している画面(クラシック表示)の2種類があります。2つの画面は互いに切り替えることができます。

*本書では、カテゴリを表示しているという前提で、操作の説明をしています。

カテゴリだけを表示する画面



各アイコンや下線部をクリックすると、各カテゴリのメニューが表示されます。

下線部をクリックすると切り替わります。



すべてのオプションを表示する画面



各アイコンをダブルクリックすると、オプション画面が開きます。

3 コントロールパネルの閉じかた

設定や確認をした後の、[オプション] 画面と [コントロールパネル] 画面の閉じかたを説明します。

1 [オプション] 画面を閉じる

変更した設定を有効にするかどうかによって、閉じかたが異なります。

[適用] ボタンをクリックした後に、[キャンセル] ボタンまたは [閉じる] ボタン () をクリックしても設定を無効にすることはできません。もう 1 度 [オプション] 画面を開いて設定しなおしてください。



画面を閉じます。
[適用] ボタンをクリックしていない場合は、設定は何も変更されません。

変更した設定を有効にします。
画面は閉じません。

画面を閉じます。
[適用] ボタンをクリックしていない場合は、設定は何も変更されません。

変更した設定を有効にし、画面を閉じます。
設定を変更すると、[閉じる] に変わる場合があります。

オプションから複数の画面を開いていた場合は、1 つ前に表示されていた画面に戻ります。

オプションの画面をすべて閉じると、[コントロールパネル] 画面に戻ります。

2 [コントロールパネル] 画面の [閉じる] ボタン () をクリックする

[コントロールパネル] 画面が閉じます。

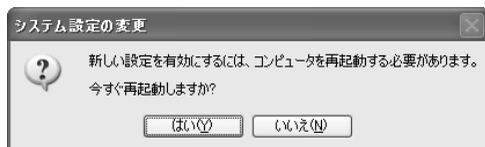
2 パソコンを再起動する

再起動とは、1度パソコン本体の電源を切り、自動的に再び電源を入れることです。設定を変更した後に、設定を有効にするにはパソコンの再起動が必要な場合があります。

再起動が必要な設定をした場合、再起動をするまでは変更が適用されません。システムが次に起動したときから設定が適用されます。

1 「再起動しますか？」と表示された場合の方法

設定を変更した後に、次のようなメッセージが表示される場合があります。



1 〔はい〕 ボタンをクリックする

パソコンが再起動します。

2 自分で再起動する方法

1 [スタート] ① → [終了オプション] をクリックする②



[コンピュータの電源を切る] 画面が表示されます。

2 [再起動] をクリックする



3 トラブルが起こったときは

使用中のパソコンにどのような機能があるか、また調子が悪い場合はどこに問題があるのかを「東芝PC診断ツール」で調べることができます。

1 パソコンの情報を見る／状態を診断する

1 起動方法

- 1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [東芝ユーティリティ] → [PC 診断ツール] をクリックする
「東芝 PC 診断ツール」が起動します。

2 パソコンを診断する

- 1 診断する項目をチェックし①、[診断開始] ボタンをクリックする②



チェックした項目を上から順番に診断します。

チェック項目によっては、診断中にメッセージが表示されますので、確かめて [はい] または [いいえ] ボタンをクリックしてください。

診断が終了し、問題があった場合には、[診断結果について] 画面が表示されます。[OK] ボタンをクリックしてください。結果が表示されます。

問題があった場合は、目的の [診断項目] の上でダブルクリックしてください。ヘルプファイルが起動し、主な解決方法が表示されます。

2) 正常な状態で起動しなおす

周辺機器のドライバの更新中やシステム（OS）のアップデート中にトラブルが発生した場合、次の手順を行うと、前回正常に起動したときの構成で Windows を起動できます。

1 操作方法

- 1 (F8) キーを押しながら、電源スイッチを押す
- 2 (↑) キーまたは (↓) キーで [前回正常起動時の構成 (正しく起動した最新の設定)] を選択し、(Enter) キーを押す
- 3 [Microsoft Windows XP Home Edition] が反転していることを確認し、(Enter) キーを押す

前回正常に起動したときの構成で Windows が起動します。

場合によっては、起動までに時間がかかります。

2章

トラブルを防ぐために

トラブルの予防方法やトラブルが起こってしまったときに備えて行っておくと良いことを説明しています。トラブルによっては、データの破壊や消失だけでなく、周囲へも影響を与えてしまうおそれもあります。快適にパソコンを使うために、あらかじめ読んでおいてください。

-
- 1 ウイルスチェックをする 30
 - 2 バックアップをとる 34

1 ウイルスチェックをする

コンピュータウイルスに感染してしまうと、パソコンのデータが破壊されたり、使用できなくなることがあります。ウイルス感染を防ぐために、ウイルスチェックソフトをインストールして普段から定期的にコンピュータウイルスの検索を行うようにしてください。

本製品には、「Norton Internet Security」が添付されています。「Norton Internet Security」のNorton AntiVirusの機能を使って、ウイルスチェックを行ってください。

1 Norton Internet Security のインストール

お願い インストールを行うにあたって

- インストールしてすぐに、LiveUpdate で最新のウイルス定義ファイルをダウンロードすることを推奨します。
- インストール終了後自動的にLiveUpdateを行うこともできます。LiveUpdateはインターネットに接続して行いますので、あらかじめインターネットに接続する設定を行っておいてください。LiveUpdateはインストール後も定期的に行うことを推奨します。

 参照 ▶ LiveUpdate について「本節 ②-2 ウイルス定義ファイルの更新」

「Norton Internet Security」は本製品にインストールされていません。次の手順に従ってインストールしてください。

1 デスクトップ上の [Norton Internet Security のセットアップ] アイコン () をダブルクリックする

2 画面の指示に従ってインストールする

情報ウィザードの完了後、自動的にセキュリティアシスタントが開始されます。このセキュリティアシスタントを使うと、「Norton Internet Security」でのコンピュータの保護のしかたを覚えながら、ひととおりセキュリティ設定を変更することができます。

2) Norton AntiVirus でチェックする

1 ウイルスをチェックする

- 1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [Norton Internet Security] → [Norton Internet Security] をクリックする
[Norton Internet Security] 画面が表示されます。
- 2 [Norton Internet Security] 画面左側の [Norton AntiVirus] をクリックする
[システム状態] 画面に切り替わります。
- 3 画面左側の [ウイルススキャン] をクリックする
[ウイルススキャン] 画面に切り替わります。
- 4 チェックするフォルダやドライブをダブルクリックする
[スキャン] 画面が表示されます。
- 5 [スキャン] ボタンをクリックする
ウイルスのチェックが始まります。チェック後、結果画面が表示されます。



6 [完了] ボタンをクリックする

ウイルスが発見されたら、感染しているファイルを削除するなど修復し、問題を解決してください。

ウイルスやファイルの種類によって、次に表示される画面が異なります。詳しくは、ヘルプを確認してください。

2 ウイルス定義ファイルの更新

コンピュータウイルスは、次々と新しいものが出現しますので、LiveUpdate を使ってウイルス定義ファイルを更新する必要があります。

LiveUpdate はインターネットに接続して行います。あらかじめインターネットに接続する設定を行ってから操作を始めてください。

 **参照** インターネットの接続について
『基本をマスター 2 章 1 インターネットに接続する』

1 [Norton Internet Security] 画面で [LiveUpdate] ボタンをクリックする

[LiveUpdate] 画面が表示されます。

2 [次へ] ボタンをクリックする

画面の指示に従って操作してください。

本製品に添付されている「Norton Internet Security」のウイルス定義ファイルの更新期限は、使用開始から 90 日間です。

期限終了後は、シマンテックにてウイルス定義ファイルの更新手続き（有償）を行うと、さらに 1 年間のサービスを受けることができます。

役立つ
操作集

Norton AntiVirus を使用する

[通知領域] の [Norton AntiVirus] アイコン () をダブルクリックすると、Norton AntiVirus のメインウィンドウを起動できます。

ウイルスチェックのみ行う場合などに便利です。

Norton AntiVirus のメインウィンドウを起動してウイルスチェックする場合は、「本項 1 ウイルスをチェックする」の手順 3 から操作してください。

3 Norton Internet Security の設定

「Norton Internet Security」には、コンピュータウイルスを検出／除去する AntiVirus の機能のほか、インターネットを通じたパソコンへの不正なアクセスを遮断する Norton Personal Firewall 機能や個人情報の漏洩を防止するためのプライバシー制御機能、インターネットの不適切なコンテンツなどから子供たちを保護する保護者機能などがあります。

これらのコンピュータ保護のための機能はインストール時に設定しますが、後で必要に応じてその設定を変更することができます。

また「Norton Internet Security」画面では、プログラムの活動を監視することもできます。

1 状態／設定画面の表示

- 1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [Norton Internet Security] → [Norton Internet Security] をクリックする
[Norton Internet Security] 画面が表示されます。

2 セキュリティアシスタント

セキュリティアシスタントの設定項目は後から手動で設定することもできます。

「Norton Internet Security」にはインターネットに接続できるアプリケーションを許可したり遮断したりする機能があります。アプリケーションのインターネット接続を遮断すると、インターネットに接続できなくなります。

再びインターネットに接続したい場合はサイバーサポートを参照して設定してください。

ヘルプの起動

- 1 「Norton Internet Security」を起動後、メニューバーの [ヘルプ] から読みたいヘルプをクリックする

 参照 「Norton Internet Security」の問い合わせ先
「付録 1 アプリケーションの問い合わせ先」

2 バックアップをとる

重要な内容は必ず、定期的にバックアップをとって保存してください。

バックアップとは、ハードディスクやソフトウェアの故障などでファイルが使用できなくなったときや、誤ってファイルを削除してしまったときのために、あらかじめファイルをフロッピーディスクやCD-RW、CD-Rなどのメディアにコピーしておくことです。

記憶内容の変化／消失については、ハードディスクやフロッピーディスクなどに保存した内容の損害については当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

バックアップが必要なデータ

バックアップをとることを推奨するデータには、次のようなものがあります。

自分で作成したデータ	データをバックアップ先にコピーして保存してください。
送受信したメール	「本節 ② インターネットのバックアップをとる」、 「本節 ③ メールバックアップをとる」の手順に従って、バックアップをとってください。
メールのアドレス帳	
インターネットの【お気に入り】	
インターネット接続の設定	『基本をマスター 2 章 1-⑦ インターネット設定チェックシート』に必要事項を記入しておいてください。

1 CD-RW、CD-Rなどにデータをバックアップする

ドラッグアンドロップシーティープラスディーヴィディー

本製品では添付の「Drag'n Drop CD+DVD」を使って、CD-RW、CD-Rにデータをバックアップすることができます。

「Drag'n Drop CD+DVD」の操作をする前に、『応用ガイド 1 章 8 マルチドライブ』の「お願い」をよく読んでください。

お願い 書き込む前に

CD-RW、CD-Rに書き込みを行うときは、「Drag'n Drop CD+DVD」を使用してください。Windows標準のライティング機能や市販のライティングソフトは、使用しないでください。

CDに書き込みを行うときは、次の注意をよく読んでから使用してください。守らずに使用すると、書き込みに失敗するおそれがあります。また、ドライブへのショックなど本体異常や、メディアの状態などによっては処理が正常に行えず、書き込みに失敗することがあります。

- CD-RW、CD-Rに書き込む際には、それぞれの書き込み速度に対応したメディアを使用してください。また、推奨するメーカーのメディアを使用してください。

参照▶ CD / DVD について『応用ガイド 1 章 8-① CD / DVD について』

- 本製品に添付の「Drag'n Drop CD+DVD」以外のCD-RW、CD-R書き込み用ソフトウェアは動作保証していません。
- 書き込み済みのCD-RWに書き込みを行う場合は、「Drag'n Drop CD+DVD」などで消去する必要があります。消去方法については、「Drag'n Drop CD+DVD」のヘルプを確認してください。

参照▶ 「Drag'n Drop CD+DVD」のヘルプ「本項 3- ヘルプの起動方法」

- バッテリー駆動で使用中に書き込みを行うと、バッテリーの消耗などによって書き込みに失敗するおそれがあります。必ずACアダプタを電源コンセントに接続してください。
- 書き込み用ソフトウェア以外のソフトウェアは終了させてください。
- スクリーンセーバなどCPUに負担のかかるソフトウェアは動作しないように設定してください。
- ウイルスチェックソフトを起動している場合は、終了させてください。
- モデムなど、通信アプリケーションを起動している場合は、終了させてください。
- 書き込みを行う際は、本製品の省電力機能が働かないようにしてください。

参照▶ 省電力機能について『応用ガイド 5 章 2 省電力の設定をする』

- 常駐型のディスクユーティリティやディスクのアクセスを高速化するユーティリティなどは、動作の不安定やデータの破損の原因となりますので使用しないことを推奨します。

-
- フロッピーディスク、PC カードタイプのハードディスクドライブ、USB 接続のハードディスクドライブなど、本製品のハードディスク以外の記憶装置にあるデータを書き込む際は、データをいったん本製品のハードディスクに保存してから書き込みを行ってください。
 - LAN を経由する場合は、データをいったん本製品のハードディスクに保存してから書き込みを行ってください。

お願い 書き込み／削除を行うにあたって

- タッチパッドを操作する、ウィンドウを開くなど、パソコン本体の操作を行わないでください。
- パソコン本体に衝撃や振動を与えないでください。
- 次の機器の取り付け／取りはずしを行わないでください。
PC カード、USB 対応機器、CRT ディスプレイ
- パソコン本体から携帯電話、および他の無線通信装置を離してください。
- オーディオプレイボタンを使用して音楽／音声の再生を行わないでください。
- 重要なデータについては、書き込み終了後、必ずデータが正しく書き込まれたことを確認してください。
- 「Drag'n Drop CD+DVD」で、重要なデータを書き込む場合は、次の設定を行ってください。正常に書き込まれていることを確認できます。
 - ① [Data BOX] を右クリックし、[オプション] をクリックする
[D : (DATA DISC) の設定] 画面が表示されます。
 - ② [書き込み設定] タブの [書き込み手順] で、[書き込み後ベリファイ] をチェックする
 - ③ [詳細ベリファイ] をクリックする
 - ④ [OK] ボタンをクリックする

1 起動方法

購入時の状態では、「Drag'n Drop CD+DVD」は自動的に起動し、デスクトップ上にアイコンが表示されます。

「Drag'n Drop CD+DVD」を終了させた場合は、次の手順で起動してください。

- 1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [Drag'n Drop CD+DVD] → [Drag'n Drop CD+DVD] をクリックする
デスクトップ上に、アイコンが表示されます。

2 Drag'n Drop CD+DVD の基本操作

デスクトップに表示されるアイコンは、次のような役割をもっています。



[Music BOX]

音楽CDを作成するときに使用します。

参照 ▶ 詳細について『応用ガイド 2章 3 オリジナル音楽CDを作る』



[DISC Backup BOX]

著作権上コピーが認められているCDのバックアップを作成するときに使用します。



[Data BOX]

フォルダやファイルをドラッグアンドドロップしてデータCDを作成するときに使用します。

「Drag'n Drop CD+DVD」は、パケットライト形式での記録機能は備えていません。

3 CD へのデータの書き込み

ここでは、例として [Data BOX] を使用して CD-R にデータを書き込む方法を説明します。

- 1 [マイ コンピュータ] などコピーしたいファイルやフォルダを選択し、[Data BOX] へドラッグアンドドロップする

- 2 未使用の CD-R をドライブにセットする

[CD ドライブ (D:)] 画面が表示された場合は、[キャンセル] ボタンを押して閉じます。

- 3 [Data BOX] に表示されている  をクリックする

CD への書き込みが開始されます。書き込みが終了すると、ドライブのディスクトレイが自動的に出てきます。

[Data Layout Window] 画面

[Data Layout Window] 画面では、[Data BOX] にドラッグアンドドロップされたファイルやフォルダを確認することができます。ファイルやフォルダの名前の変更やツリー構造の変更をすることもできます。

[Data Layout Window] 画面でファイルやフォルダの位置や名前を変えても、コピー元のデータは変更されません。また [Data Layout Window] 画面から削除しても、コピー元のデータが削除されることはありません。

1 [Data BOX] をダブルクリックする

[Data Layout Window] 画面が表示されます。

2 ツールバーの各ボタンで操作する



	CD 上に新しくフォルダを作ることができます。このフォルダにドラッグアンドドロップしたファイルやフォルダを移動できます。
	上の階層へ移動し、上の階層のフォルダやファイルの構造などを確認できます。
	[Data Layout Window] 画面に表示されているファイルやフォルダを削除します。削除したデータはメディアに書き込まれません。元のデータは削除されません。
	選択されているファイルの [プロパティ] 画面が表示され、ファイルの情報を確認できます。
	ファイルやフォルダの名前を変更できます。元のファイルやフォルダの名前は変更されません。
	データ CD や書き込み方法の設定ができます。
	クリックすると、[Data Layout Window] 画面に表示されている内容で CD に書き込まれます。

詳細については、「Drag'n Drop CD+DVD」のヘルプを参照してください。

ヘルプの起動方法

「Drag'n Drop CD+DVD」の詳しい情報は、ヘルプを確認してください。

- 1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [Drag'n Drop CD+DVD] → [Drag'n Drop CD+DVD Help] をクリックする
「Drag'n Drop CD+DVD」のヘルプが表示されます。

▶ **参照** 「Drag'n Drop CD+DVD」の問い合わせ先
「付録 1 アプリケーションの問い合わせ先」

役立つ
操作集

ノークリックバックアップ機能

ノークリックバックアップとは、バックアップ用のメディアをセットするだけで自動的にバックアップをとる機能です。あらかじめバックアップ情報を記録したメディアを作成しておく必要があります。

詳しくは、[スタート] → [すべてのプログラム] → [Drag'n Drop CD+DVD] → [ノークリックバックアップ Auto-Grabber Help] を参照してください。

2 インターネットのバックアップをとる

Internet Explorer の、[お気に入り] のバックアップをとることができます。

▶ **参照** Internet Explorer の使いかたについて
『基本をマスター 2章 インターネットを楽しもう』

1 操作手順

- 1 [スタート] → [マイ コンピュータ] をクリックする
- 2 (C:) ドライブをダブルクリックする
ドライブの内容が表示されていない場合は、[このフォルダの内容を表示する] をクリックしてください。
- 3 [Documents and Settings] フォルダをダブルクリックする
- 4 バックアップをとりたいユーザのフォルダをダブルクリックする
- 5 [お気に入り] フォルダを、バックアップデータの保存先にコピーする

【バックアップした【お気に入り】を利用する】

- ① [スタート] → [マイ コンピュータ] をクリックする
- ② (C:) ドライブをダブルクリックする
ドライブの内容が表示されていない場合は、[このフォルダの内容を表示する] をクリックしてください。
- ③ [Documents and Settings] フォルダをダブルクリックする
- ④ ユーザのフォルダをダブルクリックする
- ⑤ 保存した【お気に入り】 フォルダを、ユーザのフォルダ内の【お気に入り】 フォルダに上書きする

3) メールのバックアップをとる

送受信したメールや、登録したアドレス帳のバックアップをとることができます。ここでは、Outlook Express と Microsoft Outlook の場合のバックアップ方法を説明します。

 Outlook Express の使いかたについて
『基本をマスター 3 章 1 Outlook Express について』

 Microsoft Outlook の使いかたについて
『基本をマスター 3 章 7 Microsoft Outlook を使う』

1 Outlook Express のメールデータのバックアップ方法

- 1 メニューバーの [ツール] → [オプション] をクリックする
[オプション] 画面が表示されます。
- 2 [メンテナンス] タブで [保存フォルダ] ボタンをクリックする
[保存場所] 画面が表示されます。
- 3 [個人メッセージ ストアは下のフォルダに保存されています:] に表示されたパスをメモする
パスが長いためにすべてが表示されない場合は、パスの表示されているボックス内をクリックし、(→)キーを押して文字列をスクロールして確認してください。
- 4 [スタート] → [マイコンピュータ] をクリックする
[マイコンピュータ] 画面が表示されます。
- 5 手順3で確認した Outlook Express のメッセージが保存されているフォルダを開く

6 拡張子が「.DBX」のファイルをすべて、バックアップデータの保存先にコピーする

【バックアップしたメールデータを Outlook Express で読み込む】

- ① メニューバーの [ファイル] → [インポート] → [メッセージ] をクリックする
- ② [プログラムの選択] 画面で、[Microsoft Outlook Express 6] を選択し、[次へ] ボタンをクリックする
- ③ [場所の指定] で [Outlook Express 6 ストアディレクトリからメールをインポートする] をクリックする
- ④ [OK] ボタンをクリックする
- ⑤ バックアップ手順でメッセージを保存した場所（フロッピーディスクなど）を指定し、[次へ] ボタンをクリックする
- ⑥ [フォルダの選択] 画面で、[すべてのフォルダ] をクリックする、または [選択されたフォルダ] をクリックして読み込ませたいメールフォルダを選択して、[次へ] ボタンをクリックする
[インポートの完了] 画面が表示されます。
- ⑦ [完了] ボタンをクリックする

メールのインポートを行なった場合、同じメールは上書きされません。インポート作業が完了したあと同じ内容のメールが重複して存在する場合があります。この場合、必要に応じて手動でメールの削除を行ってください。

CD-R、CD-RW などにバックアップした場合、そのデータは書き込み不可になっている場合があります。この場合、バックアップしたデータを使うときには、1度ハードディスクドライブなどにコピーしてからそのデータを右クリック→ [プロパティ] で、[読み取り専用] のチェックをはずしてください。

2 Outlook Express のアドレス帳のバックアップ方法

1 メニューバーの [ファイル] → [エクスポート] → [アドレス帳] をクリックする

[アドレス帳エクスポートツール] 画面が表示されます。

2 [テキストファイル (CSV)] を選択し、[エクスポート] ボタンをクリックする

[CSVのエクスポート] 画面が表示されます。

3 [参照] ボタンをクリックする

[名前を付けて保存] 画面が表示されます。

-
- 4 **【保存する場所】** にバックアップ先を指定し、**【ファイル名】** にファイル名を入力する
 - 5 **【保存】 ボタンをクリックする**
[CSVのエクスポート] 画面に戻り、[エクスポート先のファイル名] にパスが入力されます。
 - 6 **【次へ】 ボタンをクリックする**
 - 7 **【エクスポートするフィールドを選択してください】** で、バックアップをとりたい項目をチェックする
 - 8 **【完了】 ボタンをクリックする**
「アドレス帳のエクスポートは正常に完了しました」のメッセージが表示されます。
 - 9 **【OK】 ボタンをクリックする**
[アドレス帳エクスポートツール] 画面に戻ります。
 - 10 **【閉じる】 ボタンをクリックする**

【バックアップしたアドレス帳を Outlook Express で読み込む】

- ① メニューバーの **【ファイル】** → **【インポート】** → **【ほかのアドレス帳】** をクリックする
[アドレス帳インポートツール] 画面が表示されます。
- ② **【テキストファイル (CSV)】** を選択し、**【インポート】** ボタンをクリックする
[CSVのインポート] 画面が表示されます。
- ③ **【参照】** ボタンをクリックする
[ファイルを開く] 画面が表示されます。
- ④ **【ファイルの場所】** と **【ファイル名】** に、バックアップしたファイル名を指定する
- ⑤ **【開く】** ボタンをクリックする
[CSVのインポート] 画面に戻り、[インポートするファイルの選択] にパスが入力されます。
- ⑥ **【次へ】** ボタンをクリックする
- ⑦ **【インポートするフィールドの割り当て】** を変更する場合は、**【割り当ての変更】** ボタンをクリックして設定する
- ⑧ **【完了】** ボタンをクリックする
読み込みたい Outlook Express のアドレス帳に同じ連絡先がある場合は、**【上書きの確認】** 画面が表示されます。表示に従って操作してください。
「アドレス帳のインポートは正常に完了しました」のメッセージが表示されます。

- ⑨ [OK] ボタンをクリックする
[アドレス帳インポートツール] 画面に戻ります。
- ⑩ [閉じる] ボタンをクリックする

3 Microsoft Outlook のバックアップ方法

Microsoft Outlook のメールや連絡先データなどが保存されている、個人用フォルダのバックアップをとることができます。

- 1 メニューバーから [ファイル] → [インポートとエクスポート] をクリックする
[インポート/エクスポート ウィザード] が起動します。
- 2 [ファイルへエクスポート] を選択し、[次へ] ボタンをクリックする
- 3 [個人用フォルダ ファイル(.pst)] を選択し、[次へ] ボタンをクリックする
[個人用フォルダのエクスポート] 画面が表示されます。
- 4 [個人用フォルダ] が選択されていることを確認し、[次へ] ボタンをクリックする
- 5 [参照] ボタンをクリックする
[個人用フォルダを開く] 画面が表示されます。
- 6 [保存先] 欄で保存先を指定し、[OK] ボタンをクリックする
- 7 [個人用フォルダのエクスポート] 画面で [完了] ボタンをクリックする

【バックアップした個人用フォルダを Microsoft Outlook で読み込む】

- ① メニューバーから [ファイル] → [インポートとエクスポート] をクリックする
[インポート/エクスポート ウィザード] が起動します。
- ② [ほかのアプリケーションまたはファイルからのインポート] を選択し、[次へ] ボタンをクリックする
- ③ [個人用フォルダ ファイル (.pst)] を選択し、[次へ] ボタンをクリックする
- ④ [参照] ボタンをクリックする
[個人用フォルダを開く] 画面が表示されます。
- ⑤ [ファイルの場所] 欄でバックアップファイルの保存元を指定し、[OK] ボタンをクリックする
- ⑥ [個人用フォルダのインポート] 画面で [完了] ボタンをクリックする

CD-R、CD-RWなどにバックアップした場合、そのデータは書き込み不可になっている場合があります。この場合、バックアップしたデータを使うときには、1度ハードディスクドライブなどにコピーしてからそのデータを右クリック→[プロパティ]で、[読み取り専用]のチェックをはずしてください。

3章

Q&A 集

トラブルの具体的な解消方法を、トラブルの起こった部位や場面ごとに Q&A 形式で説明しています。また、Q&A 集はサイバーサポートでも見ることができます。パソコンの操作ができるときは、サイバーサポートも活用してください。

【電源を入れるとき／切るとき】

Q 電源スイッチを押しても反応しない

- A** 電源スイッチを押す時間が短いと電源が入らないことがあります。
Power  LED が緑色に点灯するまで押し続けてください。

Q 1 度電源が入りかけるがすぐに切れる 電源が入らない

(Battery  LED がオレンジ色に点滅している場合)

- A** バッテリーの充電量が少ない可能性があります。
次のいずれかの対処を行ってください。
- 本製品用の AC アダプタを接続して、電源を供給する
(他製品用の AC アダプタは使用できません)
 - 充電済みのバッテリーパックを取り付ける
-  **参照** バッテリーの充電について
『応用ガイド 5 章 1-② バッテリーを充電する』

Q 1 度電源が入りかけるがすぐに切れる 電源が入らない

(DC IN  LED がオレンジ色に点滅している場合)

- A** 電源の接続の接触が悪い可能性があります。
バッテリーパックや AC アダプタを接続し直してください。
-  **参照** バッテリーパックの取り付け／取りはずし
『応用ガイド 5 章 1-③ バッテリーパックを交換する』
-  **参照** AC アダプタの接続
『まずはこれから Windows のセットアップをしよう』

- A** パソコン内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。
パソコン本体が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、パソコンの内部温度が下がるのを待ってください。
また、通風孔をふさぐと、パソコンの温度は非常に上昇しやすくなります。通風孔のまわりには物を置かないでください。
それでも電源が切れる場合は、保守サービスに連絡してください。

Q 電源を入れたが、システムが起動しない

A ドライブやフロッピーディスクドライブが起動ドライブとして設定されている場合は、システムの入っていないメディアがセットされている可能性があります。CD やフロッピーディスクを取り出すか、システムが入ってるものと取り換えてから、何かキーを押してください。

A システムの入ってないドライブが、起動ドライブとして設定されている可能性があります。

ドライブやフロッピーディスクドライブから CD やフロッピーディスクを取り出し、何かキーを押してください。それでも正常に起動しない場合は、強制終了してください。強制終了の方法は、本節「Q [終了オプション] から電源が切れない」を確認してください。

強制終了した後、(F12)キーを押しながら電源スイッチを押してください。表示されたアイコンの中からシステムの入っているドライブ（通常はハードディスクドライブ）のアイコンにカーソルを合わせて(Enter)キーを押すと、システムが起動します。

A (F8)キーを押しながら電源スイッチを押すと、正常な状態で起動しなおすことができます。

参照 → 詳細について『1章 3-2 正常な状態で起動しなおす』

Q 自動的に電源が入ってしまう

A Windows のタスクスケジューラで設定されている可能性があります。

タスクスケジューラで [タスクの実行時にスリープを解除する] に設定されていると、スタンバイ中や休止状態のときは自動的に電源が入り、設定したタスクを実行します。

次の手順で設定を変更できます。

- ① [スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [システムツール] → [タスク] をクリックする
- ② 設定されているタスクをダブルクリックする
電源が入った時間などを参考に選択してください。
- ③ [設定] タブの [電源の管理] で [タスクの実行時にスリープを解除する] のチェックをはずす
- ④ [OK] ボタンをクリックする

参照 → タスクスケジューラについて《サイバーサポート》

A パネルスイッチ機能が設定されている可能性があります。

パネルスイッチ機能とは、ディスプレイを閉じると電源を切り、開けると電源スイッチを押さなくても自動的に電源を入れる機能です。

次の手順で、パネルスイッチ機能の設定を解除できます。

- ① [コントロールパネル] を開き、[パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする
- ② [東芝省電力] をクリックする
- ③ [電源設定] タブで利用する省電力モードを選択して、[詳細] ボタンをクリックする
- ④ [動作] タブの [コンピュータを閉じたとき] で [何もしない] を選択する
- ⑤ [OK] ボタンをクリックする
- ⑥ [東芝省電力のプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする

Q [終了オプション] から電源が切れない

A (Ctrl)+(Alt)+(Del)キーを押して、電源を切ってください。

この場合、保存されていない作成中のデータは消失します。

- ① (Ctrl)+(Alt)+(Del)キーを押す
[Windows タスクマネージャ] 画面が表示されます。
- ② メニューバーの [シャットダウン] をクリックする
タッチパッドやマウスで操作できない場合は、(Alt)+(U)キーを押してください。
- ③ [コンピュータの電源を切る] をクリックする
タッチパッドやマウスで操作できない場合は、(U)キーを押してください。
プログラムを強制終了し、電源が切れます。

A (Ctrl)+(Alt)+(Del)キーを押しても反応がない場合は、電源スイッチを5秒以上押してください。

この場合、保存されていない作成中のデータは消失します。

Q 使用中に突然電源が切れてしまった

A パソコン内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。

パソコン本体が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、パソコンの内部温度が下がるのを待ってください。

また、通風孔をふさぐと、パソコンの温度は非常に上昇しやすくなります。通風孔のまわりには物を置かないでください。

それでも電源が切れる場合は、保守サービスに連絡してください。

Q しばらく操作しないとき、電源が切れる

A Power LEDが点灯している場合、表示自動停止機能が働いた可能性があります。

画面には何も表示されませんが実際には電源が入っていますので、電源スイッチを押さないでください。

(Shift)キーや(Ctrl)キーを押す、またはタッチパッドを操作すると表示が復帰します。CRTディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに10秒前後かかることがあります。

A Power LEDがオレンジ色に点滅しているか、消灯の場合、自動的にスタンバイまたは休止状態になった可能性があります。

一定時間パソコンを使用しないときに、自動的にスタンバイまたは休止状態にするように設定されています。

復帰させるには、電源スイッチを押してください。

また、次の手順で設定を解除できます。

- ① [コントロールパネル] を開き、[パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする
- ② [東芝省電力] をクリックする
- ③ [電源設定] タブで利用する省電力モードを選択し、[詳細] ボタンをクリックする
- ④ [省電力] タブで [システムスタンバイ] および [システム休止状態] の設定を [なし] にする
- ⑤ [OK] ボタンをクリックする
- ⑥ [東芝省電力のプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする

Q 間違って電源を切ってしまった

A パソコンを終了する場合は、[スタート] → [終了オプション] をクリックします。パソコンが処理をしている最中 (Disk LEDが点灯中) に電源が切れてしまうと、ハードディスクが故障する場合がありますので、正しい終了手順を守ってください。正しい終了手順に従わずに強制終了した後、パソコンの動作に少しでも異常が起こった場合はエラーチェック (ハードディスクの検査) を行ってください。異常があった場合は、画面の指示に従って操作を行ってください。

参照 ▶ エラーチェックについて《サイバーサポート》

【画面／表示】

Q 画面に何も表示されない

(Power  LEDが消灯、またはオレンジ色に点滅している場合)

- A** 電源が入っていない、またはスタンバイ状態になっています。
電源スイッチを押してください。

Q 電源は入っているが、画面に何も表示されない

(Power  LEDが緑色に点灯している場合)

- A** 表示自動停止機能が働いた可能性があります。
画面には何も表示されませんが実際には電源が入っていますので、電源スイッチを押さないでください。
(Shift)キーや(Ctrl)キーを押す、またはタッチパッドを操作すると表示が復帰します。CRTディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに10秒前後かかることがあります。

- A** インスタントセキュリティ機能が働いた可能性があります。
次の操作を行ってください。

- ① (Shift)キーや(Ctrl)キーを押すか、タッチパッドを操作する
複数のユーザで使用している場合は、ユーザ選択画面が表示されますので、ログオンするユーザ名をクリックしてください。
- ② Windowsのログオンパスワードを設定している場合は、パスワードの入力画面にWindowsのログオンパスワードを入力し、 ボタンをクリックする

 参照 インスタントセキュリティ機能について
『応用ガイド 1章 3-③-(Fn)キーを使った特殊機能キー』

- A** 表示装置が適切に設定されていない可能性があります。
(Fn)+(F5)キーを押して表示装置を切り替えてください。(Fn)+(F5)キーを3秒以上押し続けると、表示装置が液晶ディスプレイに切り替わります。

 参照 詳細について『応用ガイド 4章 7 テレビを接続する』

Q 画面が見にくい

- A** ディスプレイを見やすい角度に調整してください。

Q 画面が暗い

A (Fn)+(F7)キーを押して、内部液晶ディスプレイ（画面）の輝度を明るくしてください。

逆に、(Fn)+(F6)キーを押すと、内部液晶ディスプレイの輝度は暗くなります。

(Fn)キーで内部液晶ディスプレイの輝度を変更した場合、パソコンの電源を切ったり再起動したりすると、設定はもとに戻ります。この設定は、外部ディスプレイには反映されません。

A 内部液晶ディスプレイ（画面）の輝度が低く設定されている可能性があります。次の手順で設定を変更してください。この設定は、外部ディスプレイには反映されません。

- ① [コントロールパネル] を開き、[パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする
- ② [東芝省電力] をクリックする
- ③ [電源設定] タブで利用する省電力モードを選択して、[詳細] ボタンをクリックする
- ④ [省電力] タブで [モニタの輝度] を設定する
- ⑤ [OK] ボタンをクリックする
- ⑥ [東芝省電力のプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする

設定を変更しても明るくならない場合は、内部液晶ディスプレイに取り付けられているバックライト用蛍光管が消耗している可能性があります。バックライト用蛍光管は、使用を続けるにつれて発光量が徐々に減少し、表示画面が暗くなります。その場合は、使用している機種を確認後、保守サービスに連絡してください。有償にて交換します。

Q 画面の表示や色がはっきりしない

A 画面の解像度をパソコン本体のディスプレイサイズよりも小さく設定している場合、画面の表示がはっきりしません。また、色数を少ない設定にしている場合、画面の色がはっきりしません。

次の手順で設定を変更してください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[デスクトップの表示とテーマ] をクリックする
- ② [画面] をクリックする
[画面のプロパティ] 画面が表示されます。
- ③ [設定] タブで設定を変更する
 - 表示がはっきりしない場合
[画面の解像度] をディスプレイの解像度に合わせて変更してください。
 - 色がはっきりしない場合
[画面の色] を [最高 (32 ビット)] に設定してください。

- ④ [OK] ボタンをクリックする

参照 ▶ ディスプレイの解像度について『応用ガイド 1 章 5 ディスプレイ』

Q CRT ディスプレイで画面の色がにじんだように表示される

- A** テレビ、オーディオ機器のスピーカなど強力な磁気を発生する電気製品の近くに設置している場合は、表示がにじむ場合があります。

パソコンと電気製品との距離を離してください。

Q 【画面のプロパティ】で【画面の解像度】や【画面の色】を変更できない

- A** 【ディスプレイ】の設定があっていない可能性があります。

次の手順で確認してください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする
- ② [システム] をクリックする
[システムのプロパティ] 画面が表示されます。
- ③ [ハードウェア] タブで [デバイスマネージャ] ボタンをクリックする
[デバイスマネージャ] 画面が表示されます。
- ④ [ディスプレイアダプタ] をダブルクリックする
- ⑤ [Intel(R) 82852/82855 GM/GME Graphics Controller] が正しく接続されているか確認する
正しく接続されていない場合は、「アプリケーション DVD-ROM」からディスプレイアダプタを再インストールしてください。
- ⑥ [デバイスマネージャ] 画面で [閉じる] ボタン () をクリックする
- ⑦ [システムのプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする

参照 ▶ 再インストールについて

「4 章 3 アプリケーションを再インストールする」

Q 【スタート】ボタン／タスクバーを表示したい

- A** タスクバーの幅を狭く設定しているため見えなくなっている可能性があります。

次の手順で幅を変更してください。

- ① ポインタを画面の端に持っていく
タスクバーは画面の上下左右の端に配置することができます。
タスクバーが表示されていた位置（購入時の状態では、画面下）にポインタを移動してください。
- ② ポインタの形状が上下の矢印 (\updownarrow) または左右の矢印 (\leftrightarrow) に変わったら、ポインタを画面の内側の方向にドラッグする
- ③ 適度な位置でドロップする

タスクバーの位置を変更できない場合は、[タスクバーを固定する] という設定になっている可能性があります。

次の手順で設定を変更してください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[デスクトップの表示とテーマ] をクリックする
- ② [タスクバーと [スタート] メニュー] をクリックする
[タスクバーと [スタート] メニューのプロパティ] 画面が表示されます。
- ③ [タスクバー] タブの [タスクバーのデザイン] で [タスクバーを固定する] のチェックをはずす
- ④ [OK] ボタンをクリックする

A タスクバーが [自動的に隠す] という設定になっている可能性があります。

 キーを押してください。タスクバーと [スタート] メニューが表示されます。「自動的に隠す」を解除したい場合は、次の手順で設定を変更してください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[デスクトップの表示とテーマ] をクリックする
- ② [タスクバーと [スタート] メニュー] をクリックする
[タスクバーと [スタート] メニューのプロパティ] 画面が表示されます。
- ③ [タスクバー] タブの [タスクバーのデザイン] で [タスクバーを自動的に隠す] のチェックをはずす
- ④ [OK] ボタンをクリックする

【バッテリー駆動で使用するとき】

Battery LED が点滅した

A バッテリーの充電量が残り少ない状態です。

ただちに次のいずれかの対処を行ってください。

- パソコン本体に AC アダプタを接続し、電源を供給する
- 電源を切ってから、フル充電のバッテリーパックと取り換える

対処しないと、休止状態が有効に設定されている場合、パソコン本体は自動的に休止状態になり、電源を切ります。

休止状態が無効に設定されている場合、パソコン本体は何もしないで電源が切れますので、保存されていないデータは消失します。休止状態を有効にしておくことを推奨します。購入時は有効に設定されています。

また、データはこまめに保存しておいてください。

 参照 ▶ バッテリーの充電方法『応用ガイド 5 章 1-② バッテリーを充電する』



充電したはずのバッテリーパックを使用しても Battery LEDがオレンジ色に点滅する

- A** バッテリーパックは使わずにいても充電量が少しずつ減っていきます。
もう1度充電してください。
充電しても状態が変わらない場合は、バッテリーを再充電してみてください。

参照▶ 再充電について

『応用ガイド 5章 1-②-2 バッテリーを長持ちさせるには』

バッテリーを再充電しても状態が変わらない場合は、バッテリーパックの充電機能が低下している可能性があります。別売りのバッテリーパックと交換してください。それでも状態が変わらない場合は、パソコン本体が故障していると考えられます。保守サービスに連絡してください。

参照▶ バッテリーの充電量について

『応用ガイド 5章 1-① バッテリー充電量を確認する』



バッテリー駆動でしばらく操作しないとき、電源が切れる

- A** 自動的にスタンバイまたは休止状態になった可能性があります。
一定時間パソコンを使用しないときに、自動的にスタンバイまたは休止状態にするように設定されています。
復帰させるには、電源スイッチを押してください。
また、次の手順で設定を解除できます。

- ① [コントロールパネル] を開き、[パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする
- ② [東芝省電力] をクリックする
[東芝省電力のプロパティ] 画面が表示されます。
- ③ [電源設定] タブでバッテリー駆動中に使用する省電力モードをクリックし、[詳細] ボタンをクリックする
- ④ [省電力] タブで [システムスタンバイ] および [システム休止状態] の設定を [なし] にする
- ⑤ [OK] ボタンをクリックする
- ⑥ [東芝省電力のプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする

【キーボード】

Q キーを押しても文字が表示されない

- A** システムが処理中の可能性があります。
ポインタが砂時計の形（⌚）をしている間は、システムが処理をしている状態のため、キーボードやタッチパッドなどの操作を受け付けないときがあります。システムの処理が終わるまで待ってから操作してください。

Q キーボードから文字を入力しているときにカーソルがとんでしまう

- A** 文字を入力しているときに誤ってタッチパッドに触れると、カーソルがとんだり、アクティブウィンドウが切り替わってしまうことがあります。
次のいずれかの操作を行ってください。

- キー入力時にタッピング機能が効かないように設定する
 - ① [コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックする
 - ② [拡張] タブの [拡張機能の設定] ボタンをクリックする
 - ③ [タッチパッド] タブの [ポインタ速度とタッピングの設定] で [設定] ボタンをクリックする
[タッチパッドの詳細設定] 画面が表示されます。
 - ④ [タッピング] で [タッピングを有効にする] のチェックをはずす
 - ⑤ [OK] ボタンをクリックする
- タッチパッドを無効に設定する
(Fn) + (F9) キーを押して、タッチパッドを無効に切り替えてください。

参照 → 詳細について

『応用ガイド 1 章 4-④ タッチパッドを無効／有効にするには』

Q 「\」(バックslash)が入力できない

- A** 日本語フォントでは「\」は入力できません。
[⌘] を押すと¥が表示されますが、「\」と同じ機能を持ちます。

Q キートップがはずれてしまった

- A** 正しい取り付け手順に従って、キートップを取り付けてください。

参照 → キートップの取り付け方法

『応用ガイド 付録 1-5 キートップがはずれてしまったとき』

Q ひらがなや漢字の入力ができない

A 日本語入力システムが起動していない状態になっています。

(半/全)キーを押してください。日本語入力システムが起動すると、MS-IME ツールバーが次のように表示されます。



参照 → 詳細について『基本をマスター 1章 3-② 日本語を入力するには』

Q キーボードで入力モードを切り替えたい

A 次のショートカットキーを利用して入力モードを変更できます。

(Shift) + (CapsLock 英数) キー	大文字ロック状態
(Alt) + (カタカナひらがな) キー	ローマ字入力/かな入力
(Fn) + (F10) キー	アロー状態
(Fn) + (F11) キー	数字ロック状態

Q キーに印刷された文字と違う文字が入力されてしまう

A キーボードドライバの設定が正しくない可能性があります。

次の手順でドライバを再設定してください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする
- ② [システム] をクリックする
[システムのプロパティ] 画面が表示されます。
- ③ [ハードウェア] タブで [デバイスマネージャ] ボタンをクリックする
[デバイスマネージャ] 画面が表示されます。
- ④ [キーボード] をダブルクリックする
- ⑤ 表示されたキーボードドライバ名をダブルクリックする
キーボードのプロパティ画面が表示されます。
- ⑥ [ドライバ] タブで [ドライバの更新] ボタンをクリックする
[ハードウェアの更新ウィザード] 画面が表示されます。
- ⑦ [一覧または特定の場所からインストールする] を選択し、[次へ] ボタンをクリックする
- ⑧ [検索しないで、インストールするドライバを選択する] を選択し、[次へ] ボタンをクリックする

- ⑨ [互換性のあるハードウェアを表示] のチェックをはずす
[製造元] と [モデル] の一覧が表示されます。
- ⑩ [製造元] から [(標準キーボード)]、[モデル] から [日本語 PS/2 キーボード (106 / 109 キー Ctrl + 英数)] を選択して、[次へ] ボタンをクリックする
[デバイスのインストールの確認] 画面が表示されます。
- ⑪ [はい] ボタンをクリックする
ドライバがインストールされ、[ハードウェアの更新ウィザードの完了] 画面が表示されます。
- ⑫ [完了] ボタンをクリックする
- ⑬ キーボードのプロパティ画面で [閉じる] ボタンをクリックする
[システム設定の変更] 画面が表示され、「今コンピュータを再起動しますか?」というメッセージが表示されます。
- ⑭ [はい] ボタンをクリックする
パソコンが再起動します。



どのキーを押しても反応しない 設定はあっているが、希望の文字が入力できない

A 次の手順で [終了オプション] から再起動してください。

- ① [スタート] → [終了オプション] をクリックする
- ② [再起動] を選択する

A [終了オプション] から再起動できない場合は、**(Ctrl) + (Alt) + (Del)** キーを押して、再起動してください。

この場合、保存されていない作成中のデータは消失します。

- ① **(Ctrl) + (Alt) + (Del)** キーを押す
[Windows タスクマネージャ] 画面が表示されます。
- ② メニューバーの [シャットダウン] をクリックする
タッチパッドやマウスで操作できない場合は、**(Alt) + (U)** キーを押してください。
- ③ [再起動] をクリックする
タッチパッドやマウスで操作できない場合は、**(R)** キーを押してください。
再起動します。

A **(Ctrl) + (Alt) + (Del)** キーを押して再起動できない場合は、電源スイッチを5秒以上押してください。

電源が切れます。この場合、保存されていない作成中のデータは消去します。しばらくしてから電源を入れ直してください。

強制終了した後パソコンの動作に少しでも異常が起こった場合は、エラーチェック (ハードディスクの検査) を行ってください。異常があった場合は、画面の指示に従って操作を行ってください。

Q キーボードに飲み物をこぼしてしまった

- A** 飲み物など液体がこぼれて内部に入ると、感電、本体の故障、作成データの消失などのおそれがあります。もし、液体がパソコン内部に入ったときは、ただちに電源を切り、ACアダプタとバッテリーパックを取りはずして、購入した販売店、または保守サービスに点検を依頼してください。

【タッチパッド／マウス】

* マウスは別売りです。

Q タッチパッドやマウスを動かしても画面のポインタが動かない（反応しない）

- A** システムが処理中の可能性があります。
ポインタが砂時計の形（) をしている間は、システムが処理中のため、タッチパッド、マウス、キーボードなどの操作を受け付けないことがあります。システムの処理が終わるまで待ってから操作してください。

- A** タッチパッドのみ操作を受け付けられない場合、タッチパッドが無効に設定されている可能性があります。

(Fn) + (F9) キーを押して、タッチパッドを有効に切り替えてください。

 参照 詳細について

『応用ガイド 1 章 4-4 タッチパッドを無効／有効にするには』

Q ダブルクリックがうまくできない

- A** 次の手順で、ダブルクリックの速度を調節してください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックする
- ② [マウス] をクリックする
[マウスのプロパティ] 画面が表示されます。
- ③ [ボタン] タブで [ダブルクリックの速度] のスライダーバーを左右にドラッグする
- ④ [OK] ボタンをクリックする

Q ポインタの動きが遅い／速い

A 次の手順でポインタの速度を変更してください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックする
- ② [マウス] をクリックする
- ③ [ポインタオプション] タブで [速度] のスライダーバーを左右にドラッグする
- ④ [OK] ボタンをクリックする

A ボール式マウスを使用している場合、マウス内部が汚れていないか確認してください。

マウス内部が汚れていると動きが鈍くなります。マウス内部の掃除を行ってください。

マウスの手入れについては、『マウスに付属の説明書』を確認してください。

A 平らな場所でマウスを操作しているか確認してください。

マウスは、平らな場所で操作してください。マウスの下にゴミなどがある場合は取り除いてください。

Q USB マウスが使えない

A マウスとパソコン本体が正しく接続されていないと、マウスの操作はできません。マウスのプラグを正しく接続してください。

マウスの接続については、『マウスに付属の説明書』を確認してください。

A 新しく接続したハードウェアとして認識されていない可能性があります。

次の手順で [新しいハードウェアの追加ウィザード] を実行してください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックする
- ② [関連項目] の [ハードウェアの追加] をクリックする
[ハードウェアの追加ウィザード] が起動します。
- ③ [次へ] ボタンをクリックする
画面の指示に従って操作してください。

[CD / DVD]

Q CD / DVD にアクセスできない

A ディスクトレイがきちんとしまっていない場合は、カチッと音がするまで押し込んでください。

参照 → CD / DVD のセット『基本をマスター 1 章 1-③ CD / DVD』

A CD / DVD がきちんとセットされていない場合は、ラベルがついている方を上にして、水平にセットしてください。

A ディスクトレイ内に異物がある場合は、取り除いてください。
何かはさまっていると、故障の原因になります。

A CD / DVD が汚れている場合は、乾燥した清潔な布で拭いてください。
それでも汚れが落ちなければ、水または中性洗剤で湿らせた布で拭き取ってください。

参照 → CD / DVD の手入れ『応用ガイド 1 章 8-① CD / DVD について』

A CD / DVD を認識していない可能性があります。
CD-ROM  LED が点滅している間は、まだ認識されていません。
消灯するまで待って、もう 1 度アクセスしてください。

Q CD-ROM LED が消えない

A 大量のデータを処理しているときは、時間がかかります。
LED が消えるまで待ってください。

どうしても消えないときは作業を中断し、**(Ctrl) + (Alt) + (Del)** キーを押して再起動してください。この場合、保存されていない作成中のデータは消失します。

① **(Ctrl) + (Alt) + (Del)** キーを押す

[Windows タスクマネージャ] 画面が表示されます。

② メニューバーの [シャットダウン] をクリックする

タッチパッドやマウスで操作できない場合は、**(Alt) + (U)** キーを押してください。

③ [再起動] をクリックする

タッチパッドやマウスで操作できない場合は、**(R)** キーを押してください。
再起動します。

再起動できない場合は、電源スイッチを 5 秒以上押し、電源を切ってから、もう 1 度電源を入れてください。この場合、保存されていない作成中のデータは消失します。

再起動後、同じ操作を行っても、LEDが消えない場合は、電源を切り、保守サービスに連絡してください。

Q CD / DVD が取り出せない

A パソコン本体またはドライブの電源が入っていないと、イジェクトボタンを押してもディスクトレイは出てきません。

電源を入れてから、イジェクトボタンを押してください。

参照 → CD / DVD の取り出し『基本をマスター 1 章 1-3 CD / DVD』

Q パソコン本体またはドライブの電源が入らないため、CD / DVD が取り出せない

A ドライブのイジェクトホールを先の細い丈夫なもので押してください。イジェクトホールは、折れにくいもの（例えばクリップを伸ばしたものなど）で押してください。

折れた破片がパソコン内部に入ると、故障の原因になります。電源が入らないとき以外はこの処置をしないでください。特に、パソコンの動作中は絶対にしないでください。

参照 → イジェクトホール『基本をマスター 1 章 1-3 CD / DVD』

Q DVD-Video をドライブにセットすると、Windows Media Player が起動してしまう

A Windows Media Player の設定を変更して、InterVideo WinDVD が起動するようにしてください。

Windows Media Player やその他市販ソフトを使用して DVD-Video を再生すると、表示が乱れたり、再生できない場合があります。

- ① メニューから [ツール] → [オプション] を選択する
- ② [ファイルの種類] タブで [DVD ビデオ] のチェックをはずす
- ③ [OK] ボタンを押す

【サウンド機能】

Q サウンド再生時に音飛びが発生する

A PC カード接続のハードディスクドライブまたはドライブの動作中にサウンドの再生を行うと、音飛びが発生する場合があります。

【周辺機器】

周辺機器については『応用ガイド 4 章 周辺機器の接続』、『周辺機器に付属の説明書』もあわせて確認してください。

Q 周辺機器を取り付けているときの電源を入れる順番は？

- A** 周辺機器の電源を入れてからパソコン本体の電源を入れてください。
USB 対応機器など、周辺機器によっては、パソコン本体が起動した後に電源を入れても使うことができるものがあります。

Q 周辺機器を取り付けたが正しく動かない

- A** パソコン本体が周辺機器を、「新しいハードウェア」として認識していない可能性があります。
次の手順で [ハードウェアの追加ウィザード] を実行してください。
- ① [コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックする
 - ② [関連項目] で [ハードウェアの追加] をクリックする
[ハードウェアの追加ウィザード] が起動します。
 - ③ [次へ] ボタンをクリックする
画面の指示に従って操作してください。

-
- A** 接続ケーブルが正しく接続されていない可能性があります。
接続ケーブルを正しく接続し直してください。

 **参照** 周辺機器の接続について『応用ガイド 4 章 1 周辺機器について』

-
- A** システム (OS) に対応していない可能性があります。
周辺機器によっては、使用できるシステム (OS) が限られているものがあります。
Windows XP に対応しているか確認してください。

【フロッピーディスク】

フロッピーディスクドライブは、本製品に同梱のものを使用することを推奨します。

Q フロッピーディスクに書き込み (データの保存) ができない

- A** フォーマットされていないフロッピーディスクには、書き込み (データの保存) できません。
フォーマットを行ってください。本製品でフォーマット可能な形式は 1.44MB

のみになります。



フォーマットについて

『応用ガイド 4章 2-③ フロッピーディスクを使う前に』

- A** フロッピーディスクのライトプロテクトタブが「書き込み禁止状態」になっていると、書き込み（データの保存）ができません。

フロッピーディスクを取り出して、ライトプロテクトタブを「書き込み可能状態」にしてください。



ライトプロテクトタブについて

『応用ガイド 4章 2-③ フロッピーディスクを使う前に』

- A** フロッピーディスクの空き容量が少ないと、書き込み（データの保存）ができません。

次のいずれかの操作を行ってください。

- 不要なファイルやフォルダを削除して空き容量を増やしてから、やり直すフロッピーディスクから削除したファイルやフォルダを元に戻すことはできません。よく確かめてから削除を行ってください。
- 空き容量が十分にある別のフロッピーディスクを使用する



ファイルを開こうとすると「読み込みエラー」や「ディスクエラー」が表示された

- A** フロッピーディスクに何らかの問題がある可能性があります。

次の手順でチェックしてください。

- ① [スタート] → [マイ コンピュータ] をクリックする
- ② [3.5 インチ FD (A :)] を右クリックし、表示されたメニューから [プロパティ] をクリックする
- ③ [ツール] タブで [エラーチェック] の [チェックする] ボタンをクリックする
- ④ [不良セクタをスキャンし、回復する] をチェックする ()
[ファイル システムエラーを自動的に修復する] にチェック () を付けておくと、エラーを自動的に修復します。
- ⑤ [開始] ボタンをクリックする
エラーチェックを開始します。

- A** フロッピーディスクドライブの磁気ヘッドが汚れると、フロッピーディスクを読むことができなくなります。

市販のクリーニングディスクを使ってフロッピーディスクドライブのヘッドをクリーニングしてください。

-
- A** 他のフロッピーディスクをセットし、ファイルが開けるか確認してください。問題が解決しない場合は、フロッピーディスクドライブが故障している可能性があります。

Q フロッピーディスクのフォーマットができない

- A** 「Norton AntiVirus」の「Auto-Protect」を有効にしているとき、未フォーマットのフロッピーディスクをフォーマットできない場合があります。次の手順で「Auto-Protect」を無効にしてフォーマットしてください。

- ① [スタート] → [すべてのプログラム] → [Norton Internet Security] → [Norton AntiVirus] をクリックする
- ② [オプション] をクリックし、表示されるメニューから [Norton AntiVirus] をクリックする
- ③ [オプション] 画面で [Auto-Protect を有効にする] のチェックをはずす
- ④ [OK] ボタンをクリックする

フォーマット後は手順③で [Auto-Protect を有効にする] をチェックし、[Auto-Protect] を有効にしておくことをおすすめします。

Q フロッピーディスクのフォーマットに時間がかかる

- A** Windows フォーマットをされていないフロッピーディスクをフォーマットする場合、時間がかかります。

Q 起動用フロッピーディスクからシステムが起動しない

- A** (F12)キーを押したまま電源スイッチを押して、表示されたアイコンの中からフロッピーディスクドライブを(←)(→)キーで選択し、(Enter)キーを押すと、起動ドライブを一時的にフロッピーディスクドライブに変更できます。

-
- A** [東芝 HW セットアップ] で起動ドライブの設定を変更できます。

次の手順で変更してください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックする
- ② [東芝 HW セットアップ] をクリックする
- ③ [OS の起動] タブで [OS の起動] を [FDD] が最初になるように設定する
- ④ [OK] ボタンをクリックする

次回から、電源を入れると、フロッピーディスクドライブから起動します。

- A** 起動用フロッピーディスクが壊れている可能性があります。
壊れていない別の起動用フロッピーディスクを使用してください。

【プリンタ】

❓ 印刷ができない

- A** プリンタケーブルが正しく接続されていない可能性があります。
プリンタの接続ケーブルを正しく接続し直してください。
パソコン本体に電源が入った状態でケーブルを接続することができます。
- A** プリンタの電源が入っていない可能性があります。
プリンタの電源を入れてください。
パソコン本体の電源が入った状態でプリンタの電源を入れることができます。
- A** プリンタドライバがインストールされていない可能性があります。
プリンタを使うには、ドライバのインストールが必要です。『プリンタに付属の説明書』を確認してインストールを行ってください。
使用しているプリンタがプラグアンドプレイに対応している場合は、初めてプリンタを接続すると「プリンタの追加ウィザード」画面が表示されます。画面に従って設定してください。
プラグアンドプレイに対応していない場合は、次の手順で「プリンタの追加ウィザード」を起動してください。
- ① 「コントロールパネル」を開き、「プリンタとその他のハードウェア」をクリックする
 - ② 「プリンタを追加する」をクリックする
- A** 接続しているプリンタと違うプリンタを「通常使うプリンタ」に設定している可能性があります。
次の手順で、プリンタの設定を確認してください。
- ① 「コントロールパネル」を開き、「プリンタとその他のハードウェア」をクリックする
 - ② 「インストールされているプリンタまたはFAXプリンタを表示する」をクリックする
 - ③ 接続しているプリンタのアイコンを右クリックする
メニューが表示されます。
 - ④ 「通常使うプリンタに設定」をクリックする
プリンタのアイコンの右上にチェック () がつきます。

- A** プリンタが用紙切れ、トナー／インク切れになっている可能性があります。
用紙、トナーまたはインクを補充してください。
使用できる用紙、トナーまたはインクについては、『プリンタに付属の説明書』を確認してください。

- A** プリンタが印刷可能な状態になっていない可能性があります。
プリンタの「印刷可」や「オンライン」の表示を確認し、印刷可能な状態にしてください。
プリンタの印刷可能状態については、『プリンタに付属の説明書』を確認してください。

Q 印刷を実行すると [ファイルへ出力] 画面が表示される

- A** プリンタのプロパティで設定されています。
次の手順で設定を変更してください。
- ① [コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックする
 - ② [インストールされているプリンタまたはFAX プリンタを表示する] をクリックする
 - ③ 接続しているプリンタのアイコンを右クリックする
 - ④ 表示されるメニューの [プロパティ] をクリックする
プリンタのプロパティ画面が表示されます。
 - ⑤ [ポート] タブで [印刷するポート] を確認する
[FILE:ファイルへ出力] が選択されている場合は、使用している状態にあわせてプリンタ出力の項目を選択してください。
選択するポートは、接続するプリンタによって異なります。詳しくは、『プリンタに付属の説明書』を確認してください。
 - ⑥ [OK] ボタンをクリックする

Q スタンバイ状態、休止状態から復帰後、正常に印刷できない

- A** スタンバイ状態、休止状態に対応していないプリンタを使用している可能性があります。
プリンタケーブルをパソコン本体のコネクタから取りはずし、もう 1 度接続してください。それでも印刷できない場合は、パソコンを再起動してください。

Q 最後まで正しく印刷できない

- A** プリンタドライバが古い可能性があります。
プリンタドライバを更新してください。新しいドライバの入手方法については、

プリンタの製造元に確認してください。

また、Windows Update を行うと最新のドライバをダウンロードし、ドライバを更新できる場合があります。Windows Update は [スタート] → [すべてのプログラム] → [Windows Update] をクリックして行ってください。

Q 上記のすべてを行っても印刷できない

A Windows を終了し、パソコンを再起動してください。

A プリンタのセルフテスト（印字テスト）を実行してください。
プリンタのセルフテスト（印字テスト）ができないときは、プリンタの故障が考えられます。プリンタの製造元に問い合わせてください。

【PC カード】

Q PC カードが認識されない

A PC カードが奥までしっかり差し込んであるか確認してください。

参照 → PC カードの接続について『応用ガイド 4 章 3-② PC カードを使う』

Q PC カードの挿入は認識されるがデバイスとして認識されない

A PC カードによっては、使用できるシステム（OS）が限られているものがあります。
Windows XP に対応しているか、『PC カードに付属の説明書』を確認してください。

A 本製品は Windows 専用モデルです。コマンドプロンプト上での PC カードの使用はサポートしていません。

Q PC カードは認識されるが使用できない

A IRQ が不足している可能性があります。
次の手順で使用しないデバイスを [デバイスマネージャ] で使用不可にしてください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする
- ② [システム] をクリックする
[システムのプロパティ] 画面が表示されます。

- ③ [ハードウェア] タブで [デバイスマネージャ] ボタンをクリックする
[デバイスマネージャ] 画面が表示されます。
- ④ 使用しない装置の種類をダブルクリックする
- ⑤ 表示される項目から使用しないデバイスを右クリックし、[無効] をクリックする
- ⑥ メッセージが表示されたら [はい] ボタンをクリックする
- ⑦ [デバイス マネージャ] を閉じる
- ⑧ [システムのプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする



参照 IRQ について

『応用ガイド 付録 1-4 ハードウェアリソースについて』

【USB 対応機器】



USB 対応機器が使えない

- A** ケーブルが正しく接続されていない可能性があります。

ケーブルを正しく接続し直してください。



接続について『応用ガイド 4 章 4 USB 対応機器を接続する』

- A** 何らかの原因で、システム (OS) が正しく USB 対応機器を認識していない可能性があります。

Windows を再起動してください。

- A** ドライバが正しくインストールされていない可能性があります。

次の手順でインストールしてください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックする
- ② [関連項目] で [ハードウェアの追加] をクリックする
[ハードウェアの追加ウィザード] が起動します。
- ③ [次へ] ボタンをクリックする
画面の指示に従って操作してください。

- A** ドライバが [デバイスマネージャ] で無効に設定されている可能性があります。

次の手順で設定を確認してください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする

- ② [システム] をクリックする
[システムのプロパティ] 画面が表示されます。
- ③ [ハードウェア] タブで [デバイス マネージャ] ボタンをクリックする
[デバイスマネージャ] 画面が表示されます。
- ④ [USB (Universal Serial Bus) コントローラ] をダブルクリックする
ドライバ名が表示されます。
ドライバ名の左に× () が付いている場合は、無効に設定されています。
次の手順で設定を有効に変更してください。
- ⑤ 無効になっているドライバ名を右クリックする
- ⑥ 表示されたメニューから [有効] をクリックする
- ⑦ [デバイス マネージャ] 画面を閉じる
- ⑧ [システムのプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする

Q 休止状態から復帰後、USB 対応機器が正常に動作しない

- A** 休止状態に対応していない USB 対応機器を接続している可能性があります。
USB 対応機器を USB コネクタから取りはずし、もう 1 度接続してください。
それでも USB 対応機器が正常に動作しない場合は、パソコンを再起動してください。

【アプリケーション】

Q アプリケーションが使えない

- A** 複数のユーザでパソコンを使用する場合、アプリケーションによっては、コンピュータの管理者アカウント以外では起動できないものがあります。

 参照 ▶ 詳細について『応用ガイド 6 章 1 アプリケーションを使う前に』

- A** 正しくインストールしていない可能性があります。
『アプリケーションに付属の説明書』を読んで、正しくインストールしてください。

- A** システム (OS) に対応していない可能性があります。
アプリケーションによっては使用できるシステム (OS) が限られているものがあります。
詳しくは、『アプリケーションに付属の説明書』を確認してください。

A メモリ容量が足りない可能性があります。

アプリケーションを起動するために必要なメモリ容量がない場合は、そのアプリケーションを使用することはできません。必要なメモリ容量は、『アプリケーションに付属の説明書』を確認してください。

また、本製品は、必要に応じてメモリを増設することができます。

 **参照** メモリを増設について『応用ガイド 4章 8 メモリを増設する』

A アプリケーションによっては、システム構成の変更が必要です。

『アプリケーションに付属の説明書』を読んで、システム構成を変更してください。



アプリケーションが操作できなくなった

A アプリケーション使用中に操作できなくなった場合は、次の手順でアプリケーションを強制終了してください。

終了後、もう1度アプリケーションを起動してください。この場合、アプリケーションで編集していたデータは保存できません。

① **(Ctrl)+(Alt)+(Del)** キーを押す

[Windows タスクマネージャ] 画面が表示されます。

② [アプリケーション] タブで [応答なし] と表示されているアプリケーションをクリックする

③ [タスクの終了] ボタンをクリックする
アプリケーションが終了します。



アプリケーションがインストールできない

A アプリケーションによっては、制限付きアカウントではインストールできない場合があります。

コンピュータの管理者アカウントでインストールしてください。



購入時に入っていたアプリケーションを誤って削除してしまった

A 本製品にあらかじめインストールされている（プレインストールされている）アプリケーションやドライバは「アプリケーション DVD-ROM」から再インストールできます。

 **参照** 再インストールについて

「4章 3 アプリケーションを再インストールする」

Q BeatJamが起動できない

(音楽CDをドライブにセットした場合または、OMGファイル、MP3ファイル、WMAファイル、WAVファイル、CD Audioトラックをダブルクリックしても、BeatJamで再生できない場合)

A Windows Media Playerの初回起動時に、音楽再生アプリケーションの設定が変更された可能性があります。

次の手順に従って、BeatJamが起動するように設定してください。

- ① [スタート]→[すべてのプログラム]→[JUSTSYSTEM アプリケーション]→[BeatJam]→[BeatJam]をクリックする
BeatJamが起動します。
- ② ツールバーから[メニュー]→[オプション]を選択する
- ③ [動作]タブで[音楽CDがセットされたら、BeatJamを起動する]と、[音楽CDがセットされたら、自動的に再生を始める]をチェックする
- ④ [関連付け]タブで[OpenMGファイル(omg)], [MP3ファイル(mp3)], [Windows Media Audioファイル(wma)], [WAVファイル(wav)], [CD Audioトラック(cda)]をチェックする
- ⑤ [OK]ボタンをクリックする

【メッセージ】

Q 「Password=」と表示された

A パスワードの入力による認証が必要です。

次の操作を行ってください。

- ① 「東芝HWセットアップ」またはBIOSセットアップで登録したパスワードを入力し、(Enter)キーを押す

BIOSセットアップで登録したパスワードを忘れた場合は、キーフロッピーディスクを使用してください。

参照▶ キーフロッピーディスクについて

『応用ガイド 7章 システム環境の変更』

キーフロッピーディスクがない場合や「東芝HWセットアップ」で登録したパスワードを忘れた場合は、使用している機種を確認後、保守サービスに連絡してください。有償にてパスワードを解除します。その際、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。



「パスワードを忘れてしまいましたか？」
「パスワードが誤っています。」と表示された

- A** 入力モードの状態により大文字／小文字を誤って入力した可能性があります。
Caps Lock LED を確認してください。必要に応じて(Shift)+(CapsLock 英数)
キーを押して入力の状態を切り替え、もう 1 度入力してください。



画面が青くなり、次のようなメッセージが
画面一面に表示された

- 「A problem has been detected and windows has been shut down to prevent damage to your computer.」
- A** ハードウェアの接続に不具合が起きた、または何らかの原因で電源を切る前の状態を再現できなくなったというメッセージです。
休止状態のまま増設メモリの取り付け／取りはずしをしたときなどに表示されま
す。電源を切る前の状態は再現できません。
次の操作を行ってください。
- ① 電源スイッチを 5 秒以上押し、パソコンを強制終了する
 - ② 再び電源スイッチを押して、パソコンを再起動する
「システムを前の場所から再起動できませんでした。」というメッセージが表示
されます。
 - ③ 「復元データを削除してシステムブートメニューにすすみます」が反転表示し
ていることを確認し、(Enter)キーを押す
Windows が起動します。



「RTC battery is low or CMOS checksum is
inconsistent」 「Press[F1]Key to set Date/Time.」
と表示された

- A** 時計用バッテリーが不足しています。
次の手順で、BIOS セットアップの日付と時刻を設定してください。
- ① (F1)キーを押す
確認のメッセージが表示されます。
 - ② BIOS セットアップの [System Date] で日付を設定する
参照 → 日付の設定方法について
『応用ガイド 7 章 4-③-2 SYSTEM DATE/TIME』
 - ③ BIOS セットアップの [System Time] で時刻を設定する
参照 → 日付の設定方法について
『応用ガイド 7 章 4-③-2 SYSTEM DATE/TIME』

- ④ (End)キーを押す
確認のメッセージが表示されず。
- ⑤ (Y)キーを押す
BIOS セットアップが標準設定の状態になり、終了します。
パソコンが再起動します。

Q 次のようなメッセージが表示された

- [Insert system disk in drive.Press any key when ready]
- [Non- System disk or disk error Replace and press any key when ready]
- [Invalid system disk Replace the disk,and then press any key]
- [Boot:Couldn't Find NTLDR Please Insert another disk]
- [Disk I/O error Replace the disk,and then press any key]
- [Cannot load DOS press key to retry]
- [Remove disks or other media.Press any key to restart]

A フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出し、何かキーを押してください。

解決しない場合は、「付録 3 トラブルチェックシート」で必要事項を確認のうえ、東芝 PC ダイヤルに連絡してください。

Q C:¥ >_ のように表示された

A コマンドプロンプトが全画面表示されています。

次のいずれかの操作を行ってください。

- コマンドプロンプト画面をウィンドウ表示に切り替える
(Alt)+(Enter)キーを押してください。
- コマンドプロンプト画面を終了する
 - ① (E)(X)(I)(T)とキーを押す
 - ② (Enter)キーを押す

Q その他のメッセージが表示された

A 使用しているシステムやアプリケーションの説明書を確認してください。

【その他】

Q セーフモードで起動した

A 周辺機器のドライバやアプリケーションが原因で不具合を起こしている可能性があります。

次の手順でハードディスクをチェックしてください。

- ① [スタート] → [マイコンピュータ] をクリックする
- ② (C:) ドライブをクリックする
- ③ メニューバーから [ファイル] → [プロパティ] をクリックする
- ④ [ツール] タブの [エラーチェック] で [チェックする] ボタンをクリックする
- ⑤ [ディスクのチェック] 画面で [不良セクタをスキャンし、回復する] をチェックする
- ⑥ [開始] ボタンをクリックする
チェックには時間がかかります。
チェック後パソコンを再起動し、通常起動するか確認してください。

上記の操作を行っても正常に起動しない場合は、東芝 PC ダイアルに連絡してください。

 参照 → セーフモードについて《サイバーサポート》

Q 引っ越したときの手続きは？

A 次の変更を行ってください。

1 インターネットに接続する設定を変更する

インターネットに接続する電話回線を、引っ越し後に使用する電話回線に変更してください。

また、プロバイダのアクセスポイントは、引っ越し先の住所に最も近いアクセスポイントに変更することを推奨します。

詳しくは、契約しているプロバイダに問い合わせてください。

設定は次の手順で変更できます。

● 発信元の電話番号の設定

- ① [コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックする
- ② [電話とモデムのオプション] をクリックする
[電話とモデムのオプション] 画面が表示されます。
- ③ [ダイヤル情報] タブでダイヤル元の情報を変更する
使用する電話回線について、次の点を確認してください。

- 登録名
引越し先を新たに登録したい場合は、[新規] ボタンをクリックしてください。
- ダイヤル元の市外局番 ● 外線発信番号 ● ダイヤル方法

④ [OK] ボタンをクリックする

● 接続先の電話番号の設定

- ① [スタート] → [接続] → [XX (接続先)] をクリックする
[XX (接続先) へ接続] 画面が表示されます。
- ② [プロパティ] ボタンをクリックする
[XX (接続先) プロパティ] 画面が表示されます。
- ③ [全般] タブで [電話番号] 欄に、これから使用したいアクセスポイントの電話番号を市外局番から入力する
- ④ [XX (接続先) プロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする
- ⑤ [ダイヤル] ボタンをクリックする
変更した設定が有効になります。
すぐに接続する必要がない場合は [キャンセル] ボタンをクリックしてください。

2 東芝 PC お客様登録に登録した住所、電話番号などを変更する

下記に連絡のうえ、登録情報の変更の手続きをしてください。

- パソコンお客様ご登録係
TEL / 043-278-5997
受付時間 / 9 : 00 ~ 17 : 00 (土・日、祝日、特別休日を除く)

3 契約しているプロバイダや、Windows や各アプリケーションのユーザ登録などに登録した住所、電話番号などを変更する

詳しくは、各登録先に問い合わせてください。

Q パソコン本体からカリカリと変な音がする

A ハードディスクが自動保存を行っています。

パソコン操作中は、自動的にデータの保存などの内部作業が行われています。

ハードディスクが動作する音が聞こえますが、問題はありません。

極端に異常な音が聞こえるなど、おかしいと思われる状態が発生したときは、購入した販売店または保守サービスまで連絡してください。

Q 甲高い音がする

A ハウリングを起こしています。

ハウリングとは、スピーカから出た音がマイクに入り再びスピーカに返されることで、音が増幅し発生する高く大きな音のことです。

使用するアプリケーションによっては、マイクとスピーカとでハウリングを起こすことがあります。

次の方法で調整してください。

- パソコン本体のボリュームダイヤルで音量を調整する
- 外部マイクをパソコン本体から遠ざける
- 使用しているソフトウェアの設定を変える
- Volume Control の設定で音量を調整する

 参照 ▶ ボリュームダイヤル、Volume Control について
『応用ガイド 1 章 7-① スピーカの音量を調整する』

Q テレビやラジオの音が聞こえてくる

A モジュラーケーブルがテレビ・ラジオの音を拾っている可能性があります。

モジュラーケーブルを延長して、パソコン本体と電話回線を接続している場合は、標準のモジュラーケーブルのみを使用して確認してください。

また、モジュラーケーブルにノイズ除去用部品を取り付けてください。

それでも解決できない場合は、電話回線自体がノイズを拾っている可能性があります。契約している電話会社に相談してください。

Q パソコンの近くにあるテレビやラジオの調子がおかしい

A 次の操作を行ってください。

- テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変える
- テレビ、ラジオに対するパソコン本体の方向を変える
- パソコン本体をテレビ、ラジオから離す
- テレビ、ラジオのコンセントとは別のコンセントを使う
- コンセントと機器の電源プラグとの間に市販のフィルタを入れる
- 受信機に屋外アンテナを使う
- 平行フィーダを同軸ケーブルに替える

Q パソコンが応答しない

A 応答しないアプリケーションを強制終了してください。

この場合、保存されていないデータは消失します。

- ① **(Ctrl)+(Alt)+(Del)** キーを押す
[Windows タスクマネージャ] 画面が表示されます。
- ② [アプリケーション] タブで [応答なし] と表示されているアプリケーションをクリックする
- ③ [タスクの終了] ボタンをクリックする
アプリケーションが終了します。

アプリケーションを終了しても調子がおかしい場合は、以降の操作を行ってください。

A Windows を強制終了し、再起動してください。

強制終了の方法は、次のとおりです。

システムが操作不能になったとき以外は行わないでください。強制終了を行うと、スタンバイ/休止状態は無効になります。また、保存されていないデータは消失します。

- ① **(Ctrl)+(Alt)+(Del)** キーを押す
[Windows タスクマネージャ] 画面が表示されます。
- ② メニューバーの [シャットダウン] をクリックする
タッチパッドやマウスで操作できない場合は、**(Alt)+(U)** キーを押してください。
- ③ [コンピュータの電源を切る] をクリックする
タッチパッドやマウスで操作できない場合は、**(U)** キーを押してください。
プログラムを強制終了し、電源が切れます。
- ④ パソコン本体の電源を入れる

Q コンピュータウイルスに感染した可能性がある

A ウイルスチェックソフトでウイルスチェックを行い、ウイルスが発見された場合は駆除してください。

参照▶ ウイルスチェックソフト「2章 1 ウイルスチェックをする」

Q インターネットに接続できない

A 「Norton Internet Security」にはインターネットに接続できるアプリケーションソフトを許可または遮断する機能があります。

インターネット接続が遮断されているアプリケーションを接続許可したい場合は、セキュリティセンターの [状態と設定] 画面で設定してください。

参照▶ 設定方法《サイバーサポート》

Q 異常な臭いや過熱に気づいた！

A パソコン本体、周辺機器の電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。安全を確認してバッテリーバックをパソコン本体から取りはずしてから購入した販売店または保守サービスに連絡してください。

なお、連絡の際には次のことを伝えてください。

- 使用している機器の名称
- 購入年月日
- 現在の状態（できるだけ詳しく連絡してください）

参照▶ 修理の問い合わせについて『東芝 PC サポートのご案内』

Q 操作できない原因がどうしてもわからない

A パソコン本体のトラブルの場合は、「付録 3 トラブルチェックシート」で、必要事項を確認のうえ、東芝 PC ダイヤルに連絡してください。

A アプリケーションのトラブルの場合は、各アプリケーションのサポート窓口にお問い合わせください。

参照▶ アプリケーションの問い合わせ先
「付録 1 アプリケーションの問い合わせ先」

A 周辺機器のトラブルの場合は、各周辺機器のサポート窓口にお問い合わせください。

参照▶ 周辺機器の問い合わせ先『周辺機器に付属の説明書』

Q パソコンを廃棄したい

A 本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。

参照▶ 廃棄について「5章 2 廃棄・譲渡について」

4章

再セットアップ

これまでに説明してきたトラブル解消方法では解決できないとき、最後に行うのがパソコンの再セットアップです。再セットアップすることで、システムやアプリケーションを購入時の状態に復元できます。よく読んでから行ってください。

-
- 1 再セットアップとは 80
 - 2 システムの復元と消去 82
 - 3 アプリケーションを再インストールする 87

1 再セットアップとは

同梱されているリカバリ DVD を使って、システムやアプリケーションを購入時の状態にリカバリ（復元）することを再セットアップといいます。

1 再セットアップが必要なとき

次のようなときには、「1 章 トラブルを解消するまで」で解消へのアプローチを確認してください。いろいろな解消方法を紹介しています。

それでも、解消できないときに再セットアップしてください。

再セットアップが必要な場合	再セットアップ方法
ハードディスクをフォーマットしてしまった	システムを復元する
ハードディスクにあるシステムファイルを削除してしまった	
電源を入れても、システム（Windows）が起動しない	アプリケーションやドライバごとに再インストールする
プレインストールされていたアプリケーションを削除したが、もう1度インストールしたい	

2 再セットアップ方法

再セットアップには、次の方法があります。目的にあった再セットアップ方法を選んでください。

【システムを復元する】

システムを購入時の状態に戻します。プレインストールされているアプリケーションもすべて復元します。

 詳細について「本章 2 システムの復元」

【アプリケーションやドライバごとに再インストールする】

プレインストールされているアプリケーションのなかから、必要なアプリケーションやドライバを指定してインストールできます。

 詳細について「本章 3 アプリケーションを再インストールする」

3 再セットアップする前に

1 トラブル解消方法を探す

パソコンの調子がおかしいと思ったときは、「1章 トラブルを解消するまで」で解消へのアプローチを確認してください。いろいろな解消方法を紹介しています。それでも、解消できないときに再セットアップしてください。

2 データのバックアップをとる

システムの復元をすると、ハードディスク内に保存していたデータは、すべて消えてしまいます。購入後に作成したファイルなど、必要なデータは、あらかじめ外部記憶メディアにバックアップをとって保存してください。

また、インターネットやハードウェアなどの設定は、すべて購入時の状態に戻ります。システムの復元後も現在と同じ設定でパソコンを使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。

バックアップは、普段から定期的に行っておくことを推奨します。

 参照 ▶ バックアップについて「2章 2 バックアップをとる」

4 リカバリ DVD について

本製品には次のリカバリ DVD が同梱されています。

- リカバリ DVD-ROM
- アプリケーション DVD-ROM

リカバリ DVD は再セットアップのときに必要です。絶対になくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することはできません。

リカバリ DVD は本製品専用です。他のパソコンで再セットアップを実行しないでください。

2 システムの復元

本製品にプレインストールされている Windows やアプリケーションをすべて復元し、購入時の状態に戻します。

1 はじめる前に

システムの復元または消去を行う前に、次の準備を行ってください。

【必要なもの】

- リカバリ DVD-ROM
- 『困ったときは』（本書）、『まずはこれから』、『応用ガイド』
- Microsoft® Office XP Personal CD-ROM * 1
- Microsoft® Office XP ツール CD * 1
- Microsoft® Office XP Personal セットアップガイド * 1

* 1 : 本製品に同梱されている、「Microsoft® Office XP」と書いてある箱に入っています。

【準備】

- 必要なデータを保存する

システムを復元または消去すると、ハードディスクの内容はすべて削除されます。必要なデータは、あらかじめバックアップをとって保存してください。

 バックアップについて「2章 2 バックアップをとる」

ただし、ハードディスクをフォーマットしたりシステムファイルを削除した場合や電源を入れてもシステムが起動しない場合は、データを保存することができません。標準システムの復元を行っても、ハードディスクに保存されていたデータは復元できません。

- パソコンのハードウェア構成を購入時の状態に戻す
フロッピーディスクドライブ、マウス、増設したハードディスクドライブやメモリなど、周辺機器を取りはずしてください。

 周辺機器の取りはずし『応用ガイド 4章 周辺機器の接続』

2 システムを復元する

システムを復元する方法を説明します。手順をよく確認してから行ってください。

1 操作手順

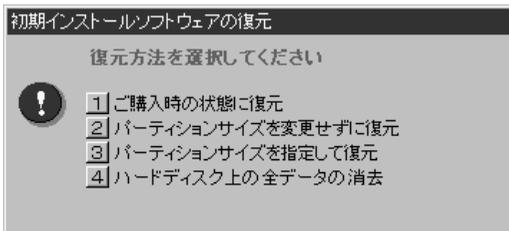
- 1 パソコン本体に AC アダプタを接続し、電源コードのプラグをコンセントに差し込む
- 2 「リカバリ DVD-ROM」をセットして、パソコンの電源を切る
- 3 キーボードの **(F12)** キーを押しながら、パソコンの電源を入れる
- 4 **(→)** または **(←)** キーでドライブのアイコン () にカーソルを合わせ、
(Enter) キーを押す

[初期インストールソフトウェアの復元] 画面が表示されます。

- 5 購入時の状態に復元する場合は **(1)** キーを、現在のパーティション設定をそのまま使用する場合は **(2)** キーを、パーティション設定を指定する場合は **(3)** キーを押す

ハードディスクを分割しないで C ドライブのみとする場合は、**(1)** キーを押してください。パーティションとは、1 台のハードディスクを分割したそれぞれの部分のことです。現在複数のパーティションを設定している場合で、パーティションサイズを変更しないときは **(2)** キー、変更するときは **(3)** キーを押してください。

(4) キーを押すと、ハードディスク上のデータはすべて消失します。詳細は、「5 章 2-2-3 ハードディスクの内容をすべて消去する」を参照してください。



- **(1)** キーを押した場合

「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」というメッセージが表示されます。

手順 6 に進んでください。

- ②キーを押した場合

「先頭パーティションのデータは、すべて削除されます！」というメッセージが表示されます。
手順6に進んでください。

- ③キーを押した場合

「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」というメッセージが表示されます。

- ① Yキーを押す

[パーティションサイズの指定] 画面が表示されます。

- ② ← または → キーを使ってパーティションのサイズを指定する
ここではハードディスクに対するCドライブのサイズを設定します。
ディスク容量が残った場合は管理ツールで設定してください。

参照 → 設定方法について「本項 2 パーティションを設定する」

- ③ Enterキーを押す

「復元を開始します！」というメッセージが表示されます。
手順7に進んでください。

6 Yキーを押す

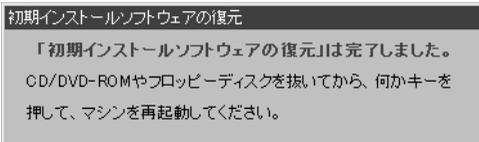
「復元を開始します！」というメッセージが表示されます。
処理を中止する場合は、Nキーを押してください。

7 Yキーを押す

処理を中止する場合は、Nキーを押してください。
復元が実行されます。復元中は、次の画面が表示されます。
復元の進行状況を示すグラフ表示が100%まで伸びた後、もう1度0%から始まります。グラフが2度目に100%に達すると完了です。



復元が完了すると、次の画面が表示されます。



8 DVD を取り出し、何かキーを押す

システムが再起動します。

9 Windows のセットアップを行う

参照▶ 詳細について『まずはこれから Windows のセットアップをしよう』

購入後に変更した設定がある場合は、Windows のセットアップ後に、もう 1 度設定をやり直してください。また、周辺機器の接続、購入後に追加したアプリケーションのインストールも、Windows のセットアップ後に行ってください。

参照▶ 周辺機器の接続『応用ガイド 4 章 周辺機器の接続』

参照▶ アプリケーションのインストール
『応用ガイド 6 章 2 アプリケーションを追加（インストール）する』

「Microsoft Office」*1 は、以上の手順では復元されません。

Windows セットアップが終了した後に、『Microsoft® Office XP Personal セットアップガイド』をよく読んで、復元してください。

*1 : Microsoft® Office XP Personal

Microsoft Office の再インストール

「本章 3-①-2 Microsoft Office XP を再インストールした場合」

2 パーティションを設定する

パーティションの設定を変更して標準システムを復元した場合は、復元後すみやかに次の設定を行ってください。

- 1 コンピュータの管理者になっているユーザアカウントでログオンする
- 2 [コントロールパネル] を開き、[ パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする
- 3 [ 管理ツール] をクリックする
- 4 [ コンピュータの管理] をダブルクリックする
- 5 [ディスクの管理] をクリックする
設定していないパーティションは [未割り当て] と表示されます。
- 6 [ディスク0] の [未割り当て] の領域を右クリックする
- 7 表示されるメニューから [新しいパーティション] をクリックする
[新しいパーティションウィザード] が起動します。
- 8 [次へ] ボタンをクリックし、ウィザードに従って設定する
次の項目を設定します。
 - ・パーティションの種類
 - ・パーティションサイズ
 - ・ドライブ文字またはパスの割り当て
 - ・フォーマット
 - ・ファイルシステム
- 9 設定内容を確認し、[完了] ボタンをクリックする
フォーマットが開始されます。
パーティションの状態が [正常] と表示されれば完了です。
詳細については「コンピュータの管理」のヘルプを参照してください。

【ヘルプの起動】

- 1 メニューバーから [ヘルプ] → [トピックの検索] をクリックする

3 アプリケーションを再インストールする

本製品にプレインストールされているアプリケーションやドライバを一度削除してしまっても、必要なアプリケーションやドライバを指定して再インストールすることができます。

【必要なもの】

- アプリケーション DVD-ROM
- 『困ったときは』（本書）、『応用ガイド』

アプリケーションによっては、再インストール時に ID 番号などが必要です。あらかじめ確認してから、再インストールすることを推奨します。

1 アプリケーションを再インストールする

アプリケーション DVD-ROM から、アプリケーションを再インストールする方法を説明します。

すでにインストールされているアプリケーションを再インストールするときは、コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」または各アプリケーションのアンインストールプログラムを実行して、アンインストールを行ってください。アンインストールを行わずに再インストールを実行すると、正常にインストールできない場合があります。ただし、上記のどちらの方法でもアンインストールが実行できないアプリケーションは、上書きでインストールしても問題ありません。

 「プログラムの追加と削除」について
『応用ガイド 6 章 アプリケーションについて』

1 操作手順

1 アプリケーション DVD-ROM をセットする

アプリケーション DVD-ROM は、複数枚入っている場合があります。

2 表示されるメッセージに従ってインストールを行う

[ファイルのダウンロード] 画面が表示された場合は、[開く] ボタンをクリックしてください。

2 Microsoft Office XPを再インストールした場合

「Microsoft Office XP」または「Microsoft Bookshelf Basic」を再インストールした場合、「Microsoft Office XP 修正モジュール」の「修正モジュール (OFCInNT) のセットアップ」をインストールする必要があります。

1 「アプリケーションDVD-ROM」をセットする

「アプリケーションDVD-ROM」画面が表示されます。

2 「アプリケーション」→「Microsoft Office XP 修正モジュール」の「修正モジュール (OFCInNT) のセットアップ」をクリックする

ダウンロード画面が表示されます。

3 「開く」ボタンをクリックする

自動的に修正モジュールのインストールが行われます。

修正モジュールが正しくインストールされると、[スタート] → [すべてのプログラム] → [スタートアップ] に、[Microsoft Office] の項目がなくなります。なくなったことを確認し、再起動を行ってください。

「Microsoft Office XP」を再インストールした場合、ライセンス認証が必要になります。『Microsoft® Office XP Personal セットアップガイド』を確認してください。

「読み上げ」および「声で入力」の組み込み方法は、『LaLaVoice ヘルプ』の「マクロのインストール/アンインストール」を確認してください。

5章

アフターケア

保守や修理などアフターケアを行う保守サービスを利用するときについて。

また、バッテリーパックの廃棄やパソコン本体の廃棄・譲渡を行う場合について知っておいて欲しいことなどを説明しています。

-
- 1 アフターケアについて 90
 - 2 廃棄・譲渡について 91

1 アフターケアについて

保守サービスについて

保守サービスへの相談は、『東芝 PC サポートのご案内』を確認してください。

保守・修理後はパソコン内のデータはすべて消去されます。

保守・修理に出す前に、作成したデータの他に次のデータのバックアップをとってください。

- メール
- メールアドレス帳
- インターネットのお気に入り など

操作方法については、「2 章 2 バックアップをとる」を確認してください。

消耗品について

バッテリーパック（充電式リチウムイオン電池）は消耗品です。

長時間の使用により消耗し、充電機能が低下します。

充電機能が低下した場合は、別売りのバッテリーパック PABAS037 と交換してください。

保守部品（補修用性能部品）の最低保有期間

保守部品（補修用性能部品）とは、本製品の機能を維持するために必要な部品です。本製品の保守部品の最低保有期間は、製品発表月から 6 年 6 ヶ月です。

2 廃棄・譲渡について

1) バッテリーパックについて

貴重な資源を守るために、不要になったバッテリーパックは廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へ持ち込んでください。
その場合、ショート防止のため電極にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってください



Li-ion

- バッテリーパック（充電式電池）の回収、リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先

社団法人 電池工業会

TEL / 03-3434-0261

ホームページ / <http://www.baj.or.jp>

2) パソコン本体について

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。
詳しくは、各地方自治体に問い合わせてください。
(本製品は、プリント基板の製造に使用するはんだに鉛が含まれています。LCD 表示部に使用している蛍光灯には水銀が含まれています。)

1 企業でパソコンを使用しているお客様へ

本製品を破棄するときは、産業廃棄物として扱われます。

東芝は、廃棄品の回収と適切な再使用・再利用処理を有償で実施しています。

使用済みになった東芝製品については、東芝の回収・処理システムの利用をお願いします。

- 問い合わせ先

東芝パソコンリサイクルセンター

〒230-0034 神奈川県横浜市鶴見区寛政町 20-1

株式会社テルム内

電話番号 : 045-510-0255

受付時間 : 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝日、当社指定の休日を除く)

FAX : 045-506-7983 (受付時間 : 24 時間)

2 パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意

最近、パソコンは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきております。これらのパソコンの中のハードディスクという記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。

したがって、そのパソコンを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去するということが必要となります。

ところが、このハードディスク上に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。

「データを消去する」という場合、一般に

- ◆ データを「ごみ箱」に捨てる
- ◆ 「削除」操作を行う
- ◆ 「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ◆ ソフトで初期化（フォーマット）する
- ◆ 付属のリカバリ DVD-ROM を使い、購入時の状態に戻す

などの作業をすすると思いますが、これらのことをしても、ハードディスク上に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際はデータは見えなくなっているという状態なのです。

つまり、一見消去されたように見えますが、Windows などの OS のもとで、それらのデータを読み出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っているという状態にあるのです。

したがって、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、パソコンのハードディスク上の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

パソコンユーザが、廃棄・譲渡などを行う際に、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、ユーザの責任において消去することが非常に重要となります。消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス（共に有償）を利用するか、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁氣的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

なお、ハードディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますため、十分な確認を行う必要があります。

本製品では、パソコン上のデータをすべて消去することができます。

 「本項 3 ハードディスクの内容をすべて消去する」

この機能は Windows などの OS によるデータ消去や初期化とは違い、ハードディスクの全領域にデータを上書きするため、データが復元されにくくなります。ただし、本機能を使用してデータを消去した場合でも、特殊な装置の使用によりデータを復元される可能性はゼロではありません。あらかじめご了承ください。

データ消去については、次のホームページも参照してください。

URL <http://dynabook.com/pc/eco/haiki.htm>

3 ハードディスクの内容をすべて消去する

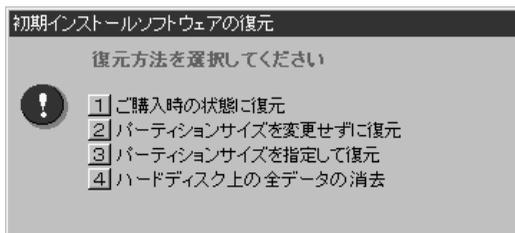
パソコン上のデータは、削除操作をしても実際には残っています。普通の操作では読み取れないようになっていますが、特殊な方法を実行すると削除したデータでも再現できてしまいます。そのようなことができないように、パソコンを廃棄または譲渡する場合など、他人に見られたくないデータを読み取れないように、消去することができます。

なお、ハードディスクに保存されている、これまでに作成したデータやプログラムなどはすべて消失します。これらを復元することはできないので、注意してください。

ハードディスクの内容をすべて消去するには、次のように行ってください。

- 1 パソコン本体に AC アダプタを接続し、電源コードのプラグをコンセントに差し込む
- 2 「リカバリ DVD-ROM」をセットして、パソコンの電源を切る
- 3 キーボードの(F12)キーを押しながら、パソコンの電源を入れる
- 4 (→)または(←)キーで CD のアイコン () にカーソルを合わせ、(Enter)キーを押す

[初期インストールソフトウェアの復元] 画面が表示されます。

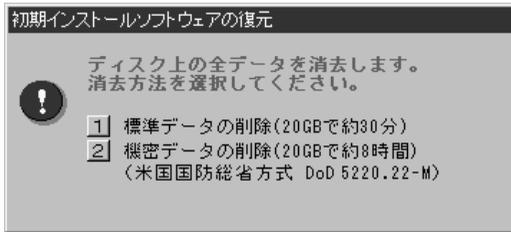


- 5 (4)キーを押す

「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」というメッセージが表示されます。

6 ①キーを押す

データの消去方法を選択する画面が表示されます。
処理を中止する場合は、②キーを押してください。



7 目的にあわせて、①または②キーを押す

①キーを押すと、ハードディスクのすべてのセクタに、固定値で上書きします。

②キーを押すと、ハードディスクのすべてのセクタに、類推されにくい乱数を使って複数回上書きします。①よりも時間はかかりますが、データを読み取られる危険性がより低くなります。

4 お客様登録の削除について

お客様登録されている製品を廃棄する場合は、「パソコンお客様ご登録係」まで連絡のうえ、登録の削除の手続きをしてください。

パソコンお客様ご登録係

TEL / 043-278-5997

受付時間 / 9 : 00 ~ 17 : 00 (土・日、祝日、特別休日を除く)

付録

-
- 1 アプリケーションの問い合わせ先 96
 - 2 プロバイダの問い合わせ先 101
 - 3 トラブルチェックシート 104

1 アプリケーションの問い合わせ先

* 2003年6月現在の内容です。

本製品に添付されているアプリケーションの問い合わせ先は、次のとおりです。各アプリケーションのユーザ登録については、それぞれの問い合わせ先まで問い合わせてください。

Acrobat Reader／ConfigFree／Fn-esse／Internet Explorer／
InterVideo WinDVD／LaLaVoice／Liquid View／Outlook Express／
Windows Media Player／簡単インターネット／くるくる壁紙チェンジャー／
サイバーサポート／東芝HWセットアップ／東芝PC診断ツール／
東芝省電力ユーティリティ／内蔵モデム用地域選択ユーティリティ／ぱらちゃん

東芝（東芝PCダイヤル）

お問い合わせの際には「お客様登録番号」をお伺いしております。あらかじめ「お客様登録」を行っていただきますようお願い申し上げます。

ナビダイヤル 0570-00-3100（サポート料無料）

受付時間 : 9:00～19:00（年中無休）

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合がございます。

なお、システムメンテナンスの日程については、dynabook.com上にてお知らせいたします。

電話番号はお間違えないようお確かめのうえ、おかけくださいますようお願いいたします。お客様からの電話は全国6箇所（千葉市、大阪市、名古屋市、福岡市、仙台市、札幌市）の最寄りの拠点に自動的に接続されます。

拠点までの電話料金は有料となります。また海外からの電話、携帯電話などで上記電話番号に接続できないお客様、NTT以外とマイラインプラスなどの回線契約をご利用のお客様は、043-298-8780でお受けしています。

ご注意

- ・ナビダイヤルでは、ダイヤル後に通話区間料金のアナウンスが流れます。これはお客様から全国6箇所の最寄りの拠点までの通常電話料金で、サポート料金ではありません。
- ・ナビダイヤルでは、NTT以外とマイラインプラスをご契約の場合でも、自動的にNTT回線を使用することになりますので、あらかじめご了承ください。

Microsoft Bookshelf Basic／Microsoft Excel／Microsoft Outlook／
Microsoft Outlook Plus!／Microsoft Word

マイクロソフト株式会社 お問い合わせ各種窓口

無償サポート専用回線

●セットアップ、インストールに関するお問い合わせ

TEL : 東京：03-5354-4500
大阪：06-6347-4400
受付時間 : 9:30～12:00、13:00～19:00（平日）
10:00～17:00（土曜日、日曜日）
（マイクロソフト株式会社休業日、年末年始、祝祭日を除く）
期間 : サポート提供期間中
回数 : 指定はございません。

●基本操作に関するお問い合わせ

TEL : 東京：03-5354-4500
大阪：06-6347-4400
受付時間 : 9:30～12:00、13:00～19:00（平日）
10:00～17:00（土曜日）
（マイクロソフト株式会社休業日、年末年始、祝祭日を除く）
期間 : サポート提供期間中
回数 : 4件のご質問

●早急に回答が必要な場合

サポートオンライン <http://support.microsoft.com/>
サポートオンラインではよく寄せられる質問の回答集を検索することができます。

●どなたでも気軽に参加できるコミュニティサイト

答えてねっと<<http://www.kotaete-net.net/>>
マイクロソフト製品をはじめとしたパソコン一般に関するトラブルや疑問などについて、質問・回答・情報交換が自由に行えるマイクロソフトが運営するWeb上のコミュニティサイトです。

初心者の方からパワーユーザーの方まで、すべての方に24時間いつでも無料でご利用いただけます。

なお、ご利用いただくにはMicrosoft .NET Passportの登録が必要となります。
（無料）

●マニュアルの乱丁・落丁、ディスク不良、オフィシャルユーザー登録/変更の受付、およびご購入前の製品/これから発売される製品に関するお問い合わせ窓口

マイクロソフトカスタマーインフォメーションセンター

TEL : 03-5454-2300
受付時間 : 9:30～12:00、13:00～17:30
（マイクロソフト株式会社休業日、年末年始、土・日・祝祭日を除く）

※ご購入前の製品やこれから発売される製品に関するお問い合わせは、お電話でのみ受け付けています。

上記以外に聴覚・言語に障害があるかたのための窓口もご用意させていただいております。

The翻訳インターネット

東芝翻訳サポートセンタ

TEL : フリーダイヤル 0120-1048-37
*携帯電話、PHSをご利用の場合 : 03-5465-7290
受付時間 : 10:00~12:00、13:00~17:00
(土・日・祝日ならびに本サポートセンタ臨時休業日を除く)
E-mail : honyaku@toshiba.co.jp
ホームページ : <http://www.hon-yaku.toshiba.co.jp/>
※「The翻訳インターネット」は、AOL専用ブラウザおよび、メーカーに連携させることはできません。

筆ぐるめ

富士ソフトABC株式会社 インフォメーションセンター

TEL : 03-5600-2551
FAX : 03-3634-1322
受付時間 : 9:30~12:00、13:00~17:00
(土・日・祝祭日・会社休業日を除く)
E-mail : users@fsi.co.jp
ホームページ : <http://www.fsi.co.jp/>
※電話がつながりにくい場合は、E-mail、FAXをご利用いただくことをおすすめします。
※マニュアルが必要な場合、オーム社から発行されている「筆ぐるめ操作マニュアル」を書店でお求めになれます。
マニュアル購入に関するお問い合わせ先
株式会社オーム社 通販課 TEL : 03-3233-0643 FAX : 03-3293-6224

Norton Internet Security

●技術的なお問い合わせ

シマンテックテクニカルサポートセンター

なお、上記サポートセンターをご利用いただくためには以下のシマンテックホームページにてカスタマーIDの取得が必要です。

ホームページ : <http://www.symantecstore.jp/oem/toshiba/>

TEL : 03-5836-2621

受付時間 : 10:00~12:00、13:00~17:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)

FAX : 03-5836-2623

※本製品でNorton AntiVirusもしくはNorton Internet Securityをご使用の場合、電話によるサポートは製品のご使用を開始されてから90日間となります。それ以降は、有償サポートをご購入いただくかパッケージ製品へアップグレードしていただくことでサポートを受けていただくことが可能となります。

●カスタマーID取得、およびご購入前の一般的なご質問に関するお問い合わせ

コンシューマ・カスタマーサービスセンター

TEL : 03-5836-2654

受付時間 : 10:00~12:00、13:00~17:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)

FAX : 03-5836-2655

デジカメWalker (Ulead iPhoto Express)

ユーリードテクニカルサポート

TEL : 03-5491-5662

受付時間 : 10:00~12:00、13:00~17:00
(土・日・祝祭日・年末年始はお休みさせていただきます)E-mail : Support@ulead.co.jpホームページ : <http://www.ulead.co.jp/tech/tech.htm>

Drag'n Drop CD+DVD

ESJカスタマーセンター

オンライン : <http://www.ddcd.jp/dd3/toshiba/cd/tosupport.html>

サポートアドレス

受付時間 : オンラインにて24時間受付

※17時30分まで受付分を当日回答、以降は翌営業日に回答
(回答は、土・日・祝日ならびに会社休業日を除きます)

フレッツADSL

〈登録に関するお問い合わせ〉

東芝ヘルプデスクセンター

TEL : 043-278-7522

受付時間 : 9:00~17:00
(土・日・祝祭日・年末年始および弊社特別休日を除く)

Yahoo! BB	
Yahoo! BBカスタマーサポートセンター	
TEL	: 0120-919-820
携帯電話	: 03-6688-5001 (東京)
PHS	話料金はお客様負担となります。
受付時間	: 24時間 (年中無休 / 施設点検日およびメンテナンス日は休業) * 23時から翌朝9時までの時間は「サービスご利用中のトラブル、故障」のみ受け付けております。
E-mail	: info@ybb-support.jp
ホームページ	: http://bb.yahoo.co.jp
ekitanExpress Online	
ekitanExpress Onlineお問い合わせ窓口	
電子メールでのみ受け付けております。	
受付時間	: 24時間 ※Webmasterからの返信は、基本的に平日(10:00~18:00)の対応とさせていただきます。 また、内容により返信できない場合、回答に日数を要する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
E-mail	: express-support@ekitan.com
ホームページ	: http://express.ekitan.com/
BeatJam	
ジャストシステムサポートセンター	
* サポートセンターへお問い合わせの際には、お客様のUser IDおよび製品のシリアルナンバーが必要です。	
TEL	: 東京 03-5412-3980 大阪 06-6886-7160
受付時間	: 平日10:00~19:00、土・日・祝日10:00~17:00 * 弊社特別休業日を除く
ホームページ	: http://support.justsystem.co.jp/

2 プロバイダの問い合わせ先

* 2003年6月現在の内容です。

「簡単インターネット」から契約できるプロバイダの問い合わせ先は、次のとおりです。

AOL	
株式会社ドコモAOL AOLメンバーサポートセンター	
TEL	: 0120-275-265 *携帯電話、PHSの場合: 03-5331-7400
受付時間	: 9:00~21:00 (年中無休)
FAX	: 0120-379-930 (自動案内)
E-Mail	: aoljapanms@aol.com
@nifty	
@nifty入会センター	
TEL	: 0120-816-042 (携帯電話/PHS/海外の場合) 03-5753-2374 (電話料金はおお客様ご負担となります。)
	お問い合わせの際は、電話番号をよくお確かめください。
受付時間	: 毎日 9:00~21:00 ※ビルの電源工事などによりお休みさせていただく場合があります。
E-mail	: https://www.nifty.com/support/madoguchi/form_join.htm
ホームページ	: http://www.nifty.com/support/madoguchi/
BIGLOBE	
NEC BIGLOBEカスタマーサポート	
インフォメーションデスク	
TEL	: フリーダイヤル 0120-86-0962 (9:00~22:00 365日受付) 携帯電話、PHS、CATV電話の方はこちらへ 03-3947-0962 *電話番号は、おかけ間違いのないようお願いいたします。
ホームページ	: http://support.biglobe.ne.jp/
DION	
KDDIカスタマーサービスセンター	
●サービス内容に関するお問い合わせ	
TEL	: 0077-7192 (無料/9:00~21:00/土・日・祝日も受付中)
●接続・設定に関するお問い合わせ	
TEL	: 0077-7084 (無料/9:00~21:00/土・日・祝日も受付中) ADSLについては24時間受付中!
	※「フレッツ・ADSL」コースについてはお問合せ内容によってお答えできない場合があります。
メールでのお問い合わせはホームページから: http://dion.ne.jp/cs/	

infoPepper

東芝情報システム株式会社 infoPepperインターネットサービスサポート窓口

T E L : 044-201-0450
受付時間 : 10:00~12:00、13:00~17:00
(当社休業日を除く月曜~金曜)
F A X : 044-246-1131
F A X ・ 音 声
情報サービス : 044-201-0449 (24時間受付)
E-mail : support@staff.pep.ne.jp
ホームページ : <http://www.pep.ne.jp/>

OCN

●OCNサービス全般のお問い合わせ、入会に関するご相談

OCNインフォメーションデスク

T E L : 0120-047-815
受付時間 : 9:00~21:00 (月~金)
9:00~17:00 (土・日・祝) ※年末、年始を除く
E-mail : info@ocn.ad.jp

●OCNサービスご契約者専用お問い合わせ先

OCNカスタマサポート

T E L : 0120-047-860
F A X : 0120-047-861
受付時間 : 9:00~21:00 (月~金)
9:00~17:00 (土・日・祝) ※年末、年始を除く
E-mail : support@ocn.ad.jp
ホームページ : <http://www.ocn.ne.jp>

ODN

ODNサポートセンター

●ODNサービスに関するお問い合わせ

簡単インターネットコース

TEL : 0088-86 (無料)

受付時間 : 24時間自動受付 (自動音声サービス ※9:00~18:00はオペレータ受付も可能)

快適ブロードバンドコース

TEL : 0088-222-375 (無料)

受付時間 : 9:00~18:00 (年中無休)

●接続に関するお問い合わせ

簡単インターネットコース

TEL : 0088-85 (無料)

受付時間 : 24時間自動受付 (自動音声サービス ※9:00~18:00はオペレータ受付も可能)

快適ブロードバンドコース

TEL : 0088-228-325 (無料)

受付時間 : 24時間自動受付 (自動音声サービス ※9:00~18:00はオペレータ受付も可能)

●E-mail・FAXによるお問い合わせ

E-mail : odn-support@odn.ad.jp (サービス案内)

tech-support@odn.ad.jp (接続サポート)

info-adsl@odn.ad.jp (ブロードバンドお問い合わせ)

ODN FAX

BOX : 0088-218-586 (無料)

東京電話インターネット

POINTコールセンター

TEL : 0081-1588
0120-719-033

受付時間 : 9:00~21:00 (年中無休)

E-mail : dup-info@ttcn.ne.jp

ホームページ : <http://www.dup.ttcn.ne.jp>

かるがるネット

かるがるネットサポートセンター

TEL : 03-3537-1325

受付時間 : 10:00~18:30 (土・日・祝日を除く)

FAX : 03-3537-1326

E-mail : info@karugaru.net

ホームページ : <http://www.karugaru.net/>

3 トラブルチェックシート

パソコンの操作について、困ったときは、東芝 PC ダイアルに連絡してください。
技術的な質問、問い合わせに電話で対応します。

【 問い合わせの際には「お客様登録番号」を伺っています。
本製品のお客様登録（ユーザ登録）をあらかじめ行っていただくようお願いしております。本体同梱の「お客様カード」またはインターネット経由で登録できます。 】

1) 東芝 PC ダイアル

ナビダイヤル

全国共通電話番号 **0570-00-3100**（サポート料無料）

※受付時間／9：00～19：00（年中無休）

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合がございます。

なお、システムメンテナンスの日程については、dynabook.com 上にてお知らせいたします。

【 電話番号はまちがえないよう、確認してかけてください 】

電話は全国 6 箇所（千葉市、大阪市、名古屋市、福岡市、仙台市、札幌市）の最寄りの拠点に自動的に接続されます。

ナビダイヤルでは、ダイヤル後に通話区間料金のアナウンスが流れます。これは全国 6 箇所の最寄りの拠点までの通常電話料金で、サポート料金ではありません。

ナビダイヤルでは、NTT 以外とマイラインプラスを契約している場合でも、自動的に NTT 回線を使用することになります。

海外からの電話、携帯電話などで上記電話番号に接続できないお客様、NTT 以外とマイラインプラスなどの回線契約をご利用のお客様は、043-298-8780 でお受けしています。

- 「東芝 PC FAX 情報サービス」からも、商品情報、Q&A などの情報を FAX（G3 規格）で入手することができます。詳しくは巻末を確認してください。
- 「東芝 PC テクノセンタ」（東京／大阪）では対面相談を受け付けています（技術相談／作業は有償）。詳しくは『東芝 PC サポートのご案内』を確認してください。

円滑に対応するために、次ページの「トラブルチェックシート」でパソコンの使用環境について確認してから、東芝 PC ダイアルに問い合わせてください。

総合さくいん

(記号)	.NET Passport	『基本をマスター』 119
	 キーを使ったショートカットキー	『応用ガイド』 27
(A)	ACアダプタの仕様	『応用ガイド』 19
	Alt キー	『応用ガイド』 22, 23
	Arrow Mode LED	『応用ガイド』 23, 24
(B)	BackSpace キー	『応用ガイド』 23
	BATTERY	『応用ガイド』 159
	Battery LED	『応用ガイド』 21
	BCC	『基本をマスター』 82
	BeatJam	『応用ガイド』 50, 54
	BIOS セットアップ	『応用ガイド』 156
	BOOT PRIORITY	『応用ガイド』 165
(C)	Caps Lock LED	『応用ガイド』 22, 24
	Caps Lock 英数キー	『応用ガイド』 22
	CC	『基本をマスター』 82
	CD-ROM LED	『応用ガイド』 21
	CD のセット	『基本をマスター』 16
	CD の取り扱い	『応用ガイド』 46
	CD の取り出し	『基本をマスター』 17
	ConfigFree	『応用ガイド』 80
	CONFIGURATION	『応用ガイド』 169
	CRT ディスプレイを接続する	『応用ガイド』 108
	Ctrl キー	『応用ガイド』 22, 23
	CyberSupport for TOSHIBA	『困ったときは』 16
(D)	DC IN LED	『応用ガイド』 21
	Del キー	『応用ガイド』 23
	Disk LED	『応用ガイド』 21
	DISPLAY	『応用ガイド』 166
	DMA 使用リソース	『応用ガイド』 179
	Drag'n Drop CD+DVD	『応用ガイド』 62
	『困ったときは』 34
	DRIVES I/O	『応用ガイド』 169
	DVD-Video を観る	『応用ガイド』 67
	DVD のセット	『基本をマスター』 16

	DVDの取り扱い	『応用ガイド』 46
	DVDの取り出し	『基本をマスター』 17
	dynabook.com	『困ったときは』 19
(E)	Enter キー	『応用ガイド』 23
	Esc キー	『応用ガイド』 22
(F)	Fn キー	『応用ガイド』 22
	Fn キーを使った特殊機能キー	『応用ガイド』 25
(H)	HTML 形式	『基本をマスター』 79
(I)	I/O ポートマップ	『応用ガイド』 179
	IME パッド	『基本をマスター』 34
	Ins キー	『応用ガイド』 23
	Internet Explorer	『基本をマスター』 58
	Internet Explorer 画面	『基本をマスター』 59
	Internet Explorer の起動	『基本をマスター』 58
	Internet Explorer の終了	『基本をマスター』 60
	InterVideo WinDVD	『応用ガイド』 67
	IRQ 使用リソース	『応用ガイド』 179
(L)	LAN ケーブルの接続	『応用ガイド』 78
	LAN コネクタ	『応用ガイド』 17
	LAN コネクタに関するインジケータ	『応用ガイド』 79
	LAN へ接続する	『応用ガイド』 78
	LEGACY EMULATION	『応用ガイド』 171
(M)	Microsoft IME スタンドアードのプロパティ	『基本をマスター』 26
	Microsoft Outlook	『基本をマスター』 98
	Microsoft Outlook 画面	『基本をマスター』 99
	Microsoft Outlook の起動	『基本をマスター』 98
	Microsoft Outlook の終了	『基本をマスター』 104
	Microsoft Outlook のバックアップ	『困ったときは』 43
	MEMORY	『応用ガイド』 159
	MS-DOS の起動ディスクを作成する	『応用ガイド』 95
(N)	Norton AntiVirus	『困ったときは』 31
	Norton Internet Security	『困ったときは』 30
	Numeric Mode LED	『応用ガイド』 23, 24

(O)	OTHERS	『応用ガイド』 167
	Outlook Express	『基本をマスター』 74
	Outlook Express 画面	『基本をマスター』 75
	Outlook Express の起動	『基本をマスター』 74
	Outlook Express の終了	『基本をマスター』 76
	Outlook Express のバックアップ	『困ったときは』 40
	Outlook Plus!	『基本をマスター』 105
(P)	PASSWORD	『応用ガイド』 161
	Pause キー	『応用ガイド』 23
	PC CARD	『応用ガイド』 170
	PCI BUS	『応用ガイド』 170
	PCI LAN	『応用ガイド』 171
	PC カードスロット	『応用ガイド』 16
	PC カードの取り付け	『応用ガイド』 99
	PC カードの取りはずし	『応用ガイド』 99
	PC カードを接続する	『応用ガイド』 98
	PERIPHERAL	『応用ガイド』 170
	Power LED	『応用ガイド』 21
	PrtSc キー	『応用ガイド』 23
(R)	RGB コネクタ	『応用ガイド』 17
(S)	Shift キー	『応用ガイド』 22, 23
	Space キー	『応用ガイド』 22
	SYSTEM DATE/TIME	『応用ガイド』 159
	S 端子ケーブルの取り付け	『応用ガイド』 103
	S 端子ケーブルの取りはずし	『応用ガイド』 107
	S 端子出力コネクタ	『応用ガイド』 17
(T)	Tab キー	『応用ガイド』 22
	TFT 方式カラー液晶ディスプレイ	『応用ガイド』 33
(U)	USB コネクタ	『応用ガイド』 17
	USB 対応機器の取り付け	『応用ガイド』 101
	USB 対応機器の取りはずし	『応用ガイド』 102
	USB 対応機器を接続する	『応用ガイド』 101
(V)	Volume Control	『応用ガイド』 42

(W)	Windows Media Player	『応用ガイド』 50, 58
	Windows のネットワーク設定	『応用ガイド』 79
(ア)	宛先	『基本をマスター』 82
	アドレス	『基本をマスター』 61
	アドレス帳のバックアップ (Outlook Express)	『困ったときは』 41
	アドレス帳を使う (Outlook Express)	『基本をマスター』 94
	アプリケーション DVD-ROM	『困ったときは』 81, 87
	アプリケーションキー	『応用ガイド』 23
	アプリケーションを起動する	『基本をマスター』 36
	アプリケーションを削除する	『応用ガイド』 143
	アプリケーションを終了する	『基本をマスター』 36
	アプリケーションを追加する	『応用ガイド』 142
	アプリケーションを使う前に	『応用ガイド』 140
	アロー状態	『応用ガイド』 24
	アンインストール	『応用ガイド』 143
(イ)	イジェクトホール	『基本をマスター』 18
	イジェクトボタン	『基本をマスター』 18
	インスタントセキュリティ機能	『応用ガイド』 25
	インストール	『応用ガイド』 142
	インターネット接続を終了する	『基本をマスター』 56
	インターネットに接続する	『基本をマスター』 55
	インターネットへの接続について	『基本をマスター』 46
(ウ)	ウィンドウ	『基本をマスター』 19
	ウィンドウズキー	『応用ガイド』 22
	ウィンドウの大きさを変える	『基本をマスター』 20
	ウィンドウを移動する	『基本をマスター』 21
	ウィンドウを閉じる	『基本をマスター』 21
	ウィンドウを開く	『基本をマスター』 20
(エ)	英数字を入力する	『基本をマスター』 30
	液晶ディスプレイの取り扱い	『応用ガイド』 40
(オ)	オーバーレイキー	『応用ガイド』 23
	大文字ロック状態	『応用ガイド』 24
	[お気に入り] からホームページを表示する	『基本をマスター』 65
	[お気に入り] に登録する	『基本をマスター』 63

	[お気に入り] のバックアップ	『困ったときは』 39
	[お気に入り] を整理する	『基本をマスター』 66
	オプションの設定 (Microsoft Outlook)	『基本をマスター』 101
	オプションの設定 (Outlook Express)	『基本をマスター』 77
	オリジナル音楽CDを作る	『応用ガイド』 62
	音楽CDを聴く	『応用ガイド』 50
	音楽ファイルを聴く	『応用ガイド』 54
(カ)	海外でインターネットに接続する	『応用ガイド』 84
	外形寸法図	『応用ガイド』 176
	回線切替器	『応用ガイド』 84
	解像度を変更する	『応用ガイド』 39
	書き込み可能状態 (フロッピーディスク)	『応用ガイド』 94
	書き込み禁止状態 (フロッピーディスク)	『応用ガイド』 94
	各部の名前	『応用ガイド』 16
	カタカナ／ひらがなキー	『応用ガイド』 23
	カタカナを入力する	『基本をマスター』 28
	カテゴリ	『応用ガイド』 78
	かな入力	『基本をマスター』 25
	壁紙を変える	『応用ガイド』 35
	漢字を入力する	『基本をマスター』 27
(キ)	キーシフトインジケータ	『応用ガイド』 24
	キーボード	『応用ガイド』 16
	キーボードの取り扱い	『応用ガイド』 28
	記号を入力する	『基本をマスター』 29
	休止状態	『応用ガイド』 134
(ク)	クイックフォーマット	『応用ガイド』 95
	クリック (タッチパッド)	『基本をマスター』 9
	『応用ガイド』 29
	クリック (マウス)	『基本をマスター』 13
(コ)	コントロールパネル	『困ったときは』 22
	ごみ箱	『基本をマスター』 42
(サ)	再起動	『困ったときは』 25
	最小化	『基本をマスター』 22
	[最小化] ボタン	『基本をマスター』 19

	再セットアップ	『困ったときは』 80
	最大化	『基本をマスター』 22
	[最大化] ボタン	『基本をマスター』 19
	サウンド機能	『応用ガイド』 42
(シ)	システムインジケータ	『応用ガイド』 16, 21
	システム環境の変更	『応用ガイド』 146
	知っておきたいマナー	『基本をマスター』 106
	受信したメールを見る (Microsoft Outlook)	『基本をマスター』 103
	受信したメールを見る (Outlook Express)	『基本をマスター』 87
	使用できる CD	『応用ガイド』 44
	使用できる DVD	『応用ガイド』 45
	使用できるフロッピーディスク	『応用ガイド』 93
	省電力モード	『応用ガイド』 127
	署名を入れる (Outlook Express)	『基本をマスター』 83
(ス)	数字ロック状態	『応用ガイド』 24
	スクロール (タッチパッド)	『基本をマスター』 10
	スクロール (マウス)	『基本をマスター』 14
	スクロールバー	『基本をマスター』 19
	スタンバイ	『応用ガイド』 134
	スピーカ	『応用ガイド』 16
(セ)	静電気について	『応用ガイド』 113
	製品仕様	『応用ガイド』 174
	セキュリティロック	『応用ガイド』 47
	セキュリティロック・スロット	『応用ガイド』 17
(ソ)	操作メニュー	『基本をマスター』 19
	増設メモリスロット	『応用ガイド』 18
	増設メモリの取り付け	『応用ガイド』 113
	増設メモリの取りはずし	『応用ガイド』 115
(タ)	タイトルバー	『基本をマスター』 19
	タッチパッド	『基本をマスター』 8
	『応用ガイド』 16
	タッピング	『応用ガイド』 29
	ダブルクリック (タッチパッド)	『基本をマスター』 9
	『応用ガイド』 29

	ダブルクリック (マウス)	『基本をマスター』 13
(ツ)	ツールバー	『基本をマスター』 19
	通知領域	『基本をマスター』 22
	通風孔	『応用ガイド』 16
(テ)	ディザリング表示	『応用ガイド』 33
	ディスクトレイ LED	『基本をマスター』 18
	ディスプレイ	『応用ガイド』 16, 33
	ディスプレイ開閉ラッチ	『応用ガイド』 16
	テキスト形式	『基本をマスター』 79
	デジカメ Walker	『応用ガイド』 73
	デジタルカメラの写真を編集／整理する	『応用ガイド』 73
	テレビに表示する	『応用ガイド』 103
	テレビを接続する	『応用ガイド』 103
	電源コードの仕様	『応用ガイド』 19
	電源コードの取り扱い	『応用ガイド』 20
	電源コネクタ	『応用ガイド』 17
	電源スイッチ	『応用ガイド』 16
	添付ファイルを開く (Outlook Express)	『基本をマスター』 88
	電話回線を接続する	『基本をマスター』 48
(ト)	東芝 HW セットアップ	『応用ガイド』 147
	東芝 PC 診断ツール	『困ったときは』 26
	東芝省電力ユーティリティ	『応用ガイド』 127
	特殊機能キー	『応用ガイド』 27
	時計用バッテリー	『応用ガイド』 121
	[閉じる] ボタン	『基本をマスター』 19
	ドラッグアンドドロップ (タッチパッド)	『基本をマスター』 10
	『応用ガイド』 29
	ドラッグアンドドロップ (マウス)	『基本をマスター』 14
(ナ)	内蔵モデム	『応用ガイド』 84
	内蔵モデム用地域選択ユーティリティ	『応用ガイド』 84
(ニ)	日本語入力システム MS-IME を起動する	『基本をマスター』 25
	入力に関する制御キー	『基本をマスター』 32

(ハ)	ハードウェアリソース	『応用ガイド』 179
	ハードディスクドライブ	『応用ガイド』 41
	パスワードの削除	『基本をマスター』 112
	パスワードの設定	『基本をマスター』 110
	パスワードの入力	『基本をマスター』 111
	パスワードの変更	『基本をマスター』 112
	パスワードを忘れたときのために	『基本をマスター』 113
	パソコンの設定	『基本をマスター』 53
	パソコン本体の取り扱い	『応用ガイド』 20
	バックアップ	『困ったときは』 34
	バッテリー	『応用ガイド』 118
	バッテリー安全ロック	『応用ガイド』 18
	バッテリー駆動での使用時間	『応用ガイド』 123
	バッテリー充電完了までの時間	『応用ガイド』 122
	バッテリー充電量	『応用ガイド』 119
	バッテリーの充電方法	『応用ガイド』 122
	バッテリーの充電保持時間	『応用ガイド』 122
	バッテリーパック	『応用ガイド』 18
	バッテリーパックの交換方法	『応用ガイド』 124
	バッテリー・リリースラッチ	『応用ガイド』 18
	バッテリーを長持ちさせるには	『応用ガイド』 123
	半/全キー	『応用ガイド』 22
(ヒ)	ピクセル	『応用ガイド』 33
	左ボタン (タッチパッド)	『基本をマスター』 8
	『応用ガイド』 16
	左ボタン (マウス)	『基本をマスター』 11
	ビデオモード	『応用ガイド』 177
	表示可能色数	『応用ガイド』 33
	ひらがなを入力する	『基本をマスター』 27
(フ)	ファイル	『基本をマスター』 37
	ファイルの圧縮方法	『基本をマスター』 107
	ファイルの解凍方法	『基本をマスター』 107
	ファイルのコピー	『基本をマスター』 40
	ファイルの作成	『基本をマスター』 38
	ファイルの名前を変更する	『基本をマスター』 40
	ファイルを削除する	『基本をマスター』 42

	ファンクションキー	『応用ガイド』 22
	フォーマット (フロッピーディスク)	『応用ガイド』 94
	フォルダ	『基本をマスター』 37
	フォルダのコピー	『基本をマスター』 40
	フォルダの作成	『基本をマスター』 38
	フォルダの名前を変更する	『基本をマスター』 40
	フォルダを削除する	『基本をマスター』 42
	複数のユーザで使用する	『基本をマスター』 114
	プラグアンドプレイ	『応用ガイド』 89
	ブロードバンドについて	『基本をマスター』 47
	フロッピーディスクドライブ	『応用ガイド』 91
	フロッピーディスクドライブの手入れ	『応用ガイド』 97
	フロッピーディスクの取り扱い	『応用ガイド』 97
	プロバイダと契約する	『基本をマスター』 51
	分岐アダプタ	『応用ガイド』 84
	文書を保存する	『基本をマスター』 30
(へ)	ヘッドホン	『応用ガイド』 110
	ヘッドホン出力端子	『応用ガイド』 16
	ヘルプの起動 (日本語入力システム MS-IME)	『基本をマスター』 35
	ヘルプの起動方法 (Microsoft Outlook)	『基本をマスター』 105
	変換キー	『応用ガイド』 23
	変換し直す	『基本をマスター』 34
	変換の区切りを変える	『基本をマスター』 33
(ホ)	ホームページの画像を壁紙に設定する	『基本をマスター』 69
	ホームページの画像を保存する	『基本をマスター』 69
	ホームページの検索	『基本をマスター』 62
	ホームページの表示	『基本をマスター』 61
	ホームページを保存する	『基本をマスター』 68
	ホイール (タッチパッド)	『基本をマスター』 10
	ホイール (マウス)	『基本をマスター』 11
	ポインタ	『基本をマスター』 8
	ポインタを動かす (タッチパッド)	『基本をマスター』 9
	ポインタを動かす (マウス)	『基本をマスター』 13
	ボリュームダイヤル	『応用ガイド』 16
	本製品の仕様	『応用ガイド』 174

- (ヤ) 矢印キー『応用ガイド』 23
- (ユ) ユーザアカウントの設定を変更する『基本をマスター』 117
 - ユーザアカウントを切り替える『基本をマスター』 115
 - ユーザアカウントを追加する『基本をマスター』 114
 - ユーザパスワードの削除『応用ガイド』 154
 - ユーザパスワードの登録『応用ガイド』 153
 - ユーザパスワードの変更『応用ガイド』 155
- (ヨ) 読みかたがわからない文字を入力する『基本をマスター』 34
- (ラ) ライトプロテクトタブ（フロッピーディスク）『応用ガイド』 94
- (リ) リカバリ DVD『困ったときは』 81
 - リリース情報『困ったときは』 11
 - 履歴『基本をマスター』 71
- (ロ) ローマ字入力『基本をマスター』 25
 - ローマ字入力一覧表『基本をマスター』 122
 - 録音レベルの調整『応用ガイド』 43